京城日報
THE KEIJO NIPPO
第三千八百四十二號（一）　大正七年六月三日　年中無休刊
六月二日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

○獨軍巴里攻撃計畫
シャロンヌ鐵道東幹線突撃

獨軍がソアソンより巴里を衝かんとする計畫の發端として現在シャロンヌ鐵道東幹線に向つて突撃を試みつゝあるが是れ明かにローレーヌ、ヴォージュ線を切斷せんと企圖せるものなり（巴里電報）

○獨軍進出阻止さる

巴里來電＝佛軍はソアソンを撤退せるも尚其外廓を支持しつゝあり大體に於て獨軍は一地點に於て二十哩の突入を爲せるが今や其の進出は一時阻止せられ居るものゝ如し（桑港電報）

○墺帝訪問意義重大

墺國皇帝カール一世はソフイヤ及びコンスタンチノープルを訪問せるが右は政治上重大なる意義を有し勃牙利及び土耳其との軍事同盟を更に鞏固にし且つ經濟的中歐同盟を完成せん爲なりと（倫敦電報）

○南北兩軍惡戰
奉天軍北軍とも大敗す

長沙來電＝北軍は各方面にて交戰中南軍は盆を覆へすが如き豪雨に乘じ攻撃を開始し奉天軍五千は大敗して死傷者二千を出せるが一方章京方面にても北軍大敗し負傷者一千民船五十三隻に乘じて二十八日長沙河口に到著せり（漢口特電）

○形勢妥協に傾く

五月三十日李純氏外五督軍より重要なる電報政府に達せり其內容は秘密に附せられ居るも形勢漸く妥協の時機に入れるものゝ如し（北京特電）

○段氏對內政策貫徹

段總理は對內政策を貫徹せんが爲め徐樹錚氏に命じ各督軍代表者を漢口に召集し最後の會議を開く可しと（上海特電）

○龍濟光情勢說明

龍濟光氏は五月三十一日午後二時段芝貴氏等の出迎を受けて北京に到著せり氏は同日午後五時馮總統に謁見し廣東の情勢に付說明せり（漢口特電）

○第一路總司令出發

第一路總司令張化懷氏は五月三十日京漢列車にて山東に向け出發せり（漢口特電）

○敵國人放逐遲延

英國側の消息に據れば敵國人放逐に就き英國公使より支那政府に督促せる結果支那政府にては來る十日迄に實行の運びとなり居れるも唯和蘭公使より婦人小兒を除外せん事を要求し來り從つて之れが解決に手間取るべきを以て實行も多少遲延す可しと（北京特電）

○東印度鐵鑛發見

蘭領東印度セレベス島にて鐵十億噸以上を有すと測定さるゝ鐵鑛床發見されたるも之れが採掘は容易なる可しと觀測さる（アムステルダム電報）

○森少將豫備役

滿洲軍少將森義臣氏は六月一日附を以て豫備役仰付けられたり（東京特電）

○井口大將檢閲

特命檢閲使井口大將は二日市驛より一日午前十一時九分門司へ來著下關に渡り步兵第四十二聯隊檢閲の爲め山口に向へり（門司特電）

○藤井師團長檢閲

駐滿軍隊隨時檢閲官藤井師團長以下の諸員は三十一日奉天現役隊の檢閲を終り一日朝本溪湖に向ひ出發せり（奉天特電）

○吉敷教育視察團

山口縣吉敷郡教育視察團二十八名は二日朝釜山市內視察の後東萊に赴き午後十一時半列車にて大田群山を經て四日朝京城著同地視察の上大連に向ふ筈なり（釜山特電）

◎政務總監臨席

山縣政務總監は朝鮮醫學會の招待に應じて二日午後六時より朝鮮ホテルに於て開催の醫學者懇親會に臨む

◎外米移入困難
當局特許せず

朝鮮への管理外米移入の件は農商務省令により農相の許可を經れば可能となりしに付某大商店に於てその許可を當局に申請し若干量の移入を企圖せしもその特許を受け難き由にて當分安價なる外米の移入を見る事は困難なるべしと

◎米價跳返る

外米管理令により抑壓されし外國米の賣出し開始せらるゝや奔騰の狀勢にありし內地並に朝鮮の米市場も稍沈靜し大阪にて五月初旬二十七圓臺に上りたる期米も下旬二十五圓臺に引返し仁川期米市場の如き高値二十三圓臺の新記錄を作り居りしに拘はらず一時二十一圓臺に低落し居りたるも政府の指定商人に賣出させつゝある外米の數量多からず即日賣切れの狀態なるにぞ期米市場に於ける買方より內懷ろを見透され幾分看過し觀あり旁々買氣の旺盛は又復米價の昂騰氣勢を煽り頭日來

▲漸騰一方の步趨にて一日の相場は大阪八月限廿六圓二十錢の高値を出し仁川は二十二圓八十錢に引返せり尚ほ京城正米市場は出廻り乏しく賣物少なきに買註文は頻到し殊に大阪方面よりは仁川に對し精白米大阪神著三十圓の註文多く入り込みつゝあるにて何ほ昂騰を免れざらんとの事なり

◎東拓株賣出期
最低プレミヤム十圓か

東洋拓殖株式會社の增資に伴ふ新株三百萬圓六萬株の公募は過般の株主總會にてその取扱ひを石塚東拓總裁に一任したるに付その後東拓本社にて總裁初め重役並に高級社員は諸種の手續きを行ないひつゝあるが多分五日頃より東京大阪兩現物團の手にて市場に賣出すべく最低プレミヤムは十圓見當なるべしとの事なり

◎鮮銀株の騰貴

朝鮮銀行の株式は五月に入り同行が第四回拂込み公告をなして以來增資說切りに喧傳せらるゝと同行營業狀態の益々佳良なるとは相俟つて株價の騰貴を來し五月初旬四百七十二圓より三圓を上下し居りしも月末に至りては百八十圓新株百五十三圓に乃ち七八圓方の値上りを見たるが時局の急變せざる限り增資決行は當然來るべき模樣なるを以て尚ほ先高見込みなり

◎中央市場條規案（八）
京城商業會議所研究案

第二十二條　問屋は本市場內に於て小賣又は仲買を兼ぬる事を得ず

問屋と云ひ仲買と云ふも單に名稱の區別にして其の實際に於ては互ひに混淆して分明せず內地に於て然り朝鮮に於ても亦然り然れども一旦公設市場の專屬問屋たる以上は其の

▲分限を明にし　問屋は單に問屋行爲に一意專念して他の範圍に干涉せしむべからず之れ即ち秩序を維持する所以なり特に問屋が小賣業を兼ぬるが如きは只小賣業者を壓迫するのみにして何等益する所なきが如く思はる

第二十三條　問屋は身元保證金として現金又は事務所が承認したる有價證券若しくは不動產を以つて金一千圓以上に相當する金額の納入を事務所に納入すべし前項の納入を爲さゞる時は問屋は其の營業を開始する事を得ず

問屋は其の糶問屋たると卸問屋たるを問はず多額の取引を爲すものにして

▲市場及び社會に對し輕からざる責任を負へるが故に事務所が人格技術を信用して市場問屋たるに同意を與ふる事とするも尚ほ財產上の信用も顧慮し置かざるべからず加之問屋は事務所に對して前條に規定する如く賣上高に對し金員を納入する義務を負擔する外に場合によりては市場に損害を與ふる事なしと限られざるが故に之等を保障する爲めに本條に規定したるが如き金額を徵收し置くの必要あり千圓は一見高額に過ぐるが如きも實際は差して苦痛を與へざるものと信ず而して其の納入を怠る者には營業を許さゞるは至當の方便なりと信ず

第二十四條　問屋は取引貨物の種類數量及び相場を每日取引終了後に事務所に報告するを要す事務所要求したる時は問屋は其の帳簿の閲覽を拒絕することを得ず

▲必要ありと認むる時は　市場規則第十六條には道長官及び警務部長又は警察署長は營業の狀況及び出納計算の報告を爲さしめ又は之に關する帳簿類の檢査を爲す事を得と規定しあり

第二十五條　問屋は委託せられたる貨物は善良なる注意を以つて取扱ひ仕切及び清算を迅速に行ふべし問屋は第二十六條規定の手數料の外委託者に對して請求するを得ず

問屋は善良ならざる點に注意を拂ふが如き手數料以外の金員を委託者に請求するが如きは取締るべきは勿論の事にして別項の理由を有せざるなり

◎東拓株の子落

東拓株は子株落ちとなりしため一時七十九圓五十錢を示せしも昨今引返して七十七圓を維持し居れり

◎朝鮮醫學會總會（第二日）

朝鮮醫學會は前日に引續き二日午前八時半より總會を開催したるが會員百五十名の外第一日の通り內地三博士を首め多數來賓列席し直ちに講演を開始す劈頭は鄭國龜氏の『眼瞼癌の二例』にて以下順を追うて

▲朝鮮人の[illegible]の『アモンストラチオン』[illegible]▲特發脫疽に就て藤田[illegible]▲『ファラティフス』[illegible]▲『テアルミー』に就て[illegible]▲[illegible]の研究[illegible]▲卵巢[illegible]▲[illegible]

ざりしが次いで宮入博士は「[illegible]」と題し多年研究の結果を相互の研究上裨益する所尠なからずあり例に依りて質問討論續出し滿場の大喝采を博したり（以下朝刊に續く）

◎鈴木長官の訓示
人參耕作者褒賞授與式に於ける

人參耕作者褒賞授與式は既報の如く一日午後二時より開城專賣局出張所に於て開會されたるが其の際鈴木度支部長官は左の訓示を爲したり

本日人參耕作者及其雇傭人に對する褒賞授與式を擧ぐるに當り諸子と相見るを得るは[illegible]病蟲害猖獗し其損害甚しく當局の施設と耕作者の協力とに依り[illegible]一大危機に瀕せしが[illegible]努めたる効果空しからず[illegible]之れが改善に努めたる[illegible]現に[illegible]參業の復興の端緒は[illegible]百六十餘萬を算するに至れり[illegible]の狀態に比較せば[illegible]隔世の感に堪へざるなり

今や參政の基礎漸く確立せりと雖今後益々紅參の品質を改善し以て高麗人參の特色を保全し其の聲價を發揚するを要す諸子は宜しく常に能く此の趣旨を體し當局官憲の指導に遵ひ鋭意參業の發達を期せむことを望む

人參耕作者の團體たる參業組合は組合長役員雇職員の熱心なる努力と組合員諸子の誠實なる協戮とに依り逐年順調なる發達を遂げ事業の成績亦見るべきものあり從來專ら政府の施設に依賴せし各種の事業を漸次組合の自辦に移し以て組合本然の目的を達成するを得たるが如きは組合員諸子の[illegible]に堪へざるなり

◎京畿春蠶狀況

京畿道管內に於ける本年度春蠶掃立總數は府郡より配付蠶種あり單獨個人購入ありて精確なる數字は擧げ難きも道が調査せし郡の所要數は三萬五千枚にして此收繭豫想高は一萬五百石なるが目下蠶兒の概況を聞くに三齡より四齡のものに亘り內三齡最も多く從つて初繭は六月十日頃出廻りを見るべきも出盛りは六月十五日頃となるべく生絲相場も昨年に劣らざる現況なれば一般に好成績を見るべき豫想なり

◎朝鮮醫學會決算

朝鮮醫學會に於ける大正六年度收支決算總經常費受入高一千八百九十六圓八十七錢五厘（內前年度より繰越九百五圓三十八錢五厘本年受入九百九十一圓四十九錢）同支拂高一千百七十九圓五十三錢（內二百圓基金繰入九百七十九圓五十三錢會誌其他）にして差引七百十七圓卅四錢五厘を本年度に繰越したりと

◎皮革目的變更許可

永登浦朝鮮皮革株式會社にては豫て總督府に對し目的變更許可の件を申請中の處去月三十一日附を以て許可の指令ありたり

◎齋藤製絲社許可

齋藤久太郎氏外三名より合資會社齋藤製絲社を京城府三坂通りに設立許可の件當局に對し申請中なりしが五月三十一日附を以て許可されたり

◎東洋鑛業支店

米國人經營に係る鑛山及び鑛物又は寶石を含有すると思料さるゝ土地の踏査試掘並に採掘をなし並に鑛山及び鑛區に關する調査を爲すこと其他を目的とせる東京麴町區八重洲町東洋鑛業株式會社にては京城竹添町一丁目支店設置許可を總督府に申請中

◎警察官勤務書

警務總監部にて起案中の警察官勤務書は愈々脫稿せるを以て六月初旬發布を見るに至るべし

○好意を以て考慮せん
出兵問題
デーリーメール紙通信員對外相會見談

デーリーメール紙東京通信員は五月三十一日後藤外相との會見談を報じて曰く一面伯利出兵問題に就ては日本よりも亦他の聯合國よりも何等提議されたる事無きが日本は若し同盟の軍隊を送る可しとの提議を爲さるゝ時あらば好意を以て考慮す可し之れ出兵の目的成功に必要なればなり故に日本が單獨にて之れを行ふことを許されなば一層効果を得んされど日本は聯合國の參加を極力拒絕したる事無し又賠償問題に就ては日本として猶ほ是れを考慮し居らず只管聯合國側の利益を圖りつゝあり日本は等しく過激派及び獨逸の露國征伏に反對するものなり又日本は支那の平和と秩序とを恢復するを希望すと述べ更に日米兩國が一層親善となれるは全く英國の爲なりと語り戰爭は今後長く續かざる可し聯合國側の勝利を確信すと云へり（東京特電）

◎淺川長官動靜

入京中の淺川馬政局長官は二日午前九時より京城俱樂部を視察し正午銀行集會所にて午餐の饗應を受け午後二時より同所にて馬政に關する講話をなし三時すぎより景福宮の參觀をなしたり尙ほ二日は午前八時半高等普通學校及び附屬普通學校參觀十時三十分より陸軍倉庫視察正午より立花師團長の招宴に列し午後騎兵隊を視察六時半より軍司令官邸に於ける晚餐會に列すべし

◎臨澤大佐檢閲

京畿道警務部長臨澤憲兵大佐は三日午前八時より管內本町警察署の事務を檢閲すべく尙同日より引續き鍾路署昌德宮廳署龍山京城兩分隊をも順次檢閲すべしと

◎醫學者懇親會

朝鮮醫學會々長以下會員は目下入京中の岡田、三宅、宮入三博士並に橫森、盛、野川三氏の歡迎を兼ね二日午後六時より朝鮮ホテルに於て懇親會を催ほす

◎簡易農學校廢止認可

豫て京城府より認可申請中なりし美洞公立簡易農業學校廢止の件は五月二十七日を以て認可されたり

【大邱】▲府協議會　大邱府協議會員新任後の初協議會は廿八日午後一時より開催諮問特別稅營業雜種稅條例、大邱府吏員宿舍料條例改正の件及び大正七年度大邱府歲入出豫算追加の件、諮問大邱府居據使用條例設定、土地買交換に關する件等を協議し可決したり▲應務主任會終了　慶尙北道に於て開催中の府郡應務主任會議は廿八日閉會鈴木道長官の訓示指示事項各府郡局提出意見に對する指示あり二十九日は共進會に關する打合せを爲し會議全部終了したり▲愛媛視察團　愛媛縣朝鮮滿洲及び青島教育視察團々長淸水則備氏外一行八名は二十八日朝大邱へ立寄り大西大邱公立農業學校長の先導にて大邱公立尋常高等小學校を參觀後、大鳳町配水池の高臺より大邱市街を眺め上町鑑賞館を觀覽して在鄕軍人分會集合所に於ける同縣人より歡迎の饗應を受け席上大西校長より大邱に於ける教育狀況の講演あり同日午後一時二十三分發京城に向へり

【群山】▲輕鐵と有志會　阪上貞信、大平德三郎氏等の企業に係る忠南輕鐵事業の達成は獨り忠南產業開發上緊要事たるのみならず全北及び忠南の呑吐港たる位置を成す群山港將來の發展上至大の關係を有するを以て群山の公共問題として研究し其達成に助力するの要ありとなし群山商業會議所頭取大澤藤十郎氏は阪上貞信氏を招き一夕群山有志者を會同し阪上氏が輕鐵創設準備に關する內地方面の經過及び現況の說明を求むるに決したるは既報の如くなるが五月二十九日午後七時より群山商業會議所會議室に右會合を開きたるに天野府尹の外民間有力者多數及び各新聞記者等參會大澤會頭開會の趣旨を述べ頭で阪上貞信氏は大正二年以來大平德三郎氏等と共に忠南輕鐵敷設に關し努力の經過を說き起し最近總督府當路の漸く該鐵道敷設權許可の方針に傾きつゝありし經過と現在好調に進捗しつゝある情況を詳細に敍述する處ありて有力者は一致して本計畫の達成に應援すべき方針を凝議決定し散會したるが折柄阪上氏は同問題の爲め上林忠南道長官の狀に接し六月一日公州に向ふを機とし會議所にて其狀況を詳かにする爲め阪上氏の承諾を得て書記長谷川賴市氏を隨伴せしむることゝせり

【大田】▲貨車搭載演習　大田駐屯步兵第八十聯隊第三大隊は二十九日午後一時より大田驛構內にて兵員貨車乘車演習を擧行したるが午後四時頃終了成績良好なりし▲大田驛引渡期　大田停車場の新築工事は既報の如く着々進捗し既に全部の足掛りも撤廢し目下內部の裝飾工事中なるが六月十五日頃には引渡しを了し即日移轉の上事務を開始すべしと因みに構內賣店及び階上の喫茶店は京城ホテルにて經營すべしと▲中學本年度建築　大田中學校にて本年新築すべき建物は寄宿舍の一部、賄室、食堂、炊事場及び生徒自習室寢室等二階建二棟平屋一棟にして總坪數約六百坪地均工事費約六萬數千圓に達する由

◎京畿公立小學校現況　本年三月末現在京畿道管內公立小學校學級數は二百六十二學級職員數二百六十八人兒童數合計一萬四百二十九人內男五千四百九十三人女四千九百三十六人なりと

人事消息

▲鈴木度支部長官　一日午後開城より歸京
▲坂田土木局技師　平安南道へ出張中の處一日歸京
▲田中商吉氏（共益社取締役）　二日朝入京釜山へ
▲中村竹男氏（公州監獄典獄）　二日朝入京木浦へ
▲野口東京官　二日朝奉天より通過內地へ
▲宮崎貞一（警務總監部會計課長）　一日午後一時平壤へ
▲李完用伯　一日午後大田より歸京
▲鈴木四郎氏（北海道殖産株式會社京城出張所長）　一日午後新義州へ
▲中村長五郎氏（中村組）　一日午後平壤へ
▲高倉有三氏（三井物産京城支店長）　一日午後仁川城より歸京
▲新■太■氏（大邱監獄典獄）　二日朝入京京城へ
▲岩崎虎次郎氏（全州殖産銀行支配人）　西鮮並に安東方面視察中のところ一日朝入京二日朝歸全
▲チエム、コリンフ氏（英國陸軍少將）　一日夜入京朝鮮ホテルへ

◎九州見物（二十五）
別府溫泉　碧溪生

耶馬溪より別府に到著したるは午後九時、溫泉の里の灯は華やかに一行を迎へたり。別府は朝鮮在任者に取りては憧れの地にして、福岡大學病院と共に、重病人、半病人の差別無く

○一の樂園の如く、[illegible]すれば起死回生の地の如く信ぜられつゝあり、往復五百哩程、二週間の長旅行に疲勞したる一行が、一日も早く別府に到著せん事を熱望したるも無理からぬ事、滯留二日を四日に延期しては奈何など、緊急動議を提出して贊成を求め步きたる人の尠からざりしも無理からぬ事、兎に角此の旅行に於てプログラムの最後に別府を加へたるは實も花もある

○風流を添へたりと言ふ可きか、いでや溫湯に浴して長途の旅塵を洗ひ淨めつゝ溫泉の里の情趣に耽らん哉

○企業界の藥源地

別府は武烈帝の時開かれたりと云ふが沿革は舊けれど鐵道開通前までは大分の別府にして、未だ九州の別府ならざりしも、近年北九州の發展に伴うて非常の繁榮を遂げ

○日本の別府として九州は言ふに及ばず、關西以西朝鮮滿洲臺灣等よりも浴客を誘引しつゝ有り、而して九州の企業家は皆此處を會合場となし、慰樂場となし歡樂地となし居る由、溫泉場が事業界の策源地となる、又一奇なり、別府の地、山に、谿に、海濱に、市街地に、到る處熱湯湧沸し、溫泉場を分つて別府町、濱脇、觀海寺、龜川、柴石、鐵輪、明礬

○堀田の八區となし、溫泉に鹽類泉、酸性泉、炭酸泉、硫黃泉等あり海濱に沿ひ一面に砂湯あり、其の多種多樣なる驚く程なり、我等は砂潛りの茶番氣は出さゞりしも、溫泉課に就いて案內を訊き僅々二日間に各種の溫泉に浴し、胃弱も、頭痛も、脚氣も、又皮膚病も、懶惰病も

○一氣に退治せんとしたるが、却つて湯當りに苦しめられ、出發の日は五體を壓搾さるゝが如き苦痛を覺えたり

定價　本紙一部金參錢　一ケ月金七拾五錢[illegible]
廣告料[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人[illegible]　印刷人　小川三之介
[illegible]

表
[illegible]

保津川鐵橋大慘事

第一機關車河中に墜落

第二車は橋桁に引懸つて吊下る

各車破壞

◇乘客の叫喚夜陰を破る慘憺たる修羅場

◇死傷者數十名に及ぶべし

一日夜八時半京都驛を發せる福知山行列車は二等客車一輛三等客車四輛貨車十輛を二輛の機關車にて牽引しつゝ同九時十五分嵯峨驛を距る約二十町第一小倉山隧道を過ぎ保津川鐵橋に差蒐らんとする際前日來の雨にて附近山岳の地盤緩み線路上に岩石崩壞せる爲め第一機關車脫線顚覆し三丈餘の河中に墜落第二機關車鐵橋に進行顚覆橋桁に引懸りて危く河上に吊下りて留り餘勢は連結せる郵便車三等ボギー車を破壞せるより乘客の叫喚の聲夜陰を破りて慘憺たる修羅場を演じ第一機關車は形態を留めざる迄滅茶苦茶に破壞され橋上より危く吊下れる第二機關車も亦半破壞して死者數名重輕傷者數十名を出したり（大阪特電）

無線電話機を大成す

叙勳された三氏

海軍省一日午後四時發表＝今回（既電の如く）特に叙勳の御沙汰ありたる海軍少佐服部正計、海軍技師林房吉、同松田莛生の三氏は海軍造兵廠電氣部に奉職し無線電信電話の研究に從事せる者にて多年

◆苦心慘澹 歷々難關に遭遇せるも遂に其目的を達し理想的無線電話機を大成し我海軍々事通信に裨益する處多大にして其功績顯著なる旨天聽に達し恩典に浴したるものなり（中略）

◆三氏相協力し從來實用上多くの缺點ありたる無線電話機を有線電話以上に明瞭に聽取し得るものと爲し尙自由に應答通話し得るものたらしめたるなり（東京特電）

石原理學博士 天然痘に感染す

＝療養の爲別府温泉へ 途中京城一泊か

旅順工科學堂教授石原理學博士は過般面部に腫物を生じたるを以て滿鐵病院に入院したる所意外にも同院にて前患者の病毒殘存せる爲

▽天然痘に 感染し身體中五千何百個の小さき腫物を生じ其の痕は孔が明き一時發熱四十一度二に達したるより同院にては應急療法として頭上の手に手套を箝めしかも兩手を腰部に結び付けて治療したるが更に不幸を重ねたるは博士の病床にて看護しゐたる博士

▽夫人にも 天然痘が感染したる事にて幸ひ豫後良好にて博士及び夫人とも漸く退院し別府温泉にて當分療養すべく博士は一日午後六時三十分安東驛發列車にて南下せるが或は途中

▽京城に一泊 すにやも知れずといふ而して博士の天然痘に感染せしは既に山東地方にて地府調查中匪賊の爲めに慘殺せられたる加藤氏の遺骨を引取に赴きし者が加藤氏の遭難地にて天然痘に感染して大連に歸り滿鐵病院へ入院したるが其の退院後病毒の殘りゐたる室へ博士を入れたる爲め遂に感染したるものなり（安東發）

山下中將の息を刺殺した大尉 無期懲役

＝狂者に非ず

昨年二月山下中將の令息四郎（一〇）を刺殺せし海軍大尉假島廣三郎は狂者に非ずと爲し今回無期懲役の宣告を受け東京小菅監獄に押送されたり（大阪特電）

柴田氏死去

株式仲買人柴田大吉氏は一日朝死去せり（大阪特電）

馬に緣ある馬政局長官を

＝主賓として開かれた驩迎乘馬會

◇馬の話で終始した＝黃金町の馬場

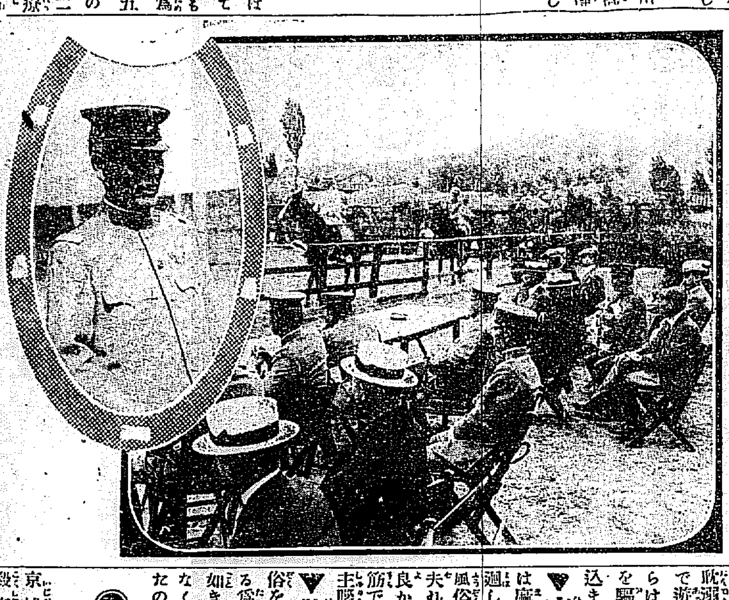
久し振りにカラリと晴れた二日の午前十時から京城乘馬倶樂部では黃金町の馬場に於て目下入京中の馬に最も緣の深い淺川馬政局長官のために

◇驩迎乘馬會 を催すこと、なつた、主人側からは乘馬會々長たる鈴木度支部長官を始め村田鑛務課長、片山鮮銀理事、吉田同營業局長、飯泉國庫課長、權藤李王職事務官その他の會員多數來賓としては高橋武官、前田大佐、富塚步兵第七十九聯隊長、美濃部鮮銀總裁、川上東拓理事、スタンダード貿易の副社長バーレー氏その他十數名

◇當日の主賓 たる淺川中將は案內役の野口總督府技師と共に同行の馬政官佐原騎兵少佐を隨へ馬車を驅つて來着、鈴木會長、前田大佐その他の諸氏に迎へられて設けの席に著けば直ちに片山理事吉田營業局長等初步者數名の

◇乘馬運動が 開始され續いて松本少年（松本總護士令息）田中少年（田中半四郎氏令息）野村少年の大人も及ばぬ輕快な乘馬運動が喝采を博したあとに鈴木長官等數名の會員の高等乘馬があつて何れも喝采を博し十一時半散會したが主人側もお客樣も皆

◇馬に趣味を 有つた人のこととて馬の話で終始し淺川中將は京城に於ける乘馬熱の盛んなことを聞いて滿足の笑を洩してゐた



淺川馬政局長官驩迎乘馬會 【左 淺川中將 黃金町馬場にて】

妓生屋に戒告

浪費者について

京畿道警務部では頃日京城市內の漢南、新彰、茶洞、廣橋等の妓生各券番取締代表者を召集し嚴重なる

▽戒告を 與へた、是は最近京城では朝鮮人の富豪の若者、或は貴族の子弟等にして常に遊里に耽溺し甚はなすこともなくブラ〳〵で遊び暮し涼しい風の吹く夕景からは大ビラ切つて裝飾した自動車を驅り夫れに妓生の美形連を乘り込ませて痴話喃語

▽東は淸 涼里から往十里西は麻浦漢江岸から永登浦迄も乘り廻して盛んに浪費するのみならず風俗を紊亂することが夥しく、夫れが餘りに大袈裟で人目を惹き良からぬ醜態を演ずるので遂に其筋でも捨措かれず前記の各券番の主腦者に對し組合各營業者に一般

▽警告す る樣命じ、萬一風俗を亂すことや不當なる暴利を貪る爲め是等浪費の子弟を誘引する如きものを發見したる場合は容赦なく嚴罰に處する旨の目玉を下したのである

屋根崩落す

三名辛く免る

京城黃金町四丁目八十四番地米穀商林平玉方にては一日午後三時三十分頃家屋の修繕中俄然屋根が崩落して屋內にて工事作業中の光熙町二丁目の金德三（四〇）韓七鳳（二〇）韓春凱（六〇）の三名は其の下敷きとなりたるも辛く逃れ出で幸に負傷せざりしと

生田葵氏入京

過般當地を通過して西伯利亞方面に旅行中なりし小說家生田葵氏は二日入京市內某氏方に滯在中なるが二三日滯京見物の上歸東すべしと

玉城畫伯の揮毫

山水人物畫を得意とする東京新進畫家益田玉城氏は文展に於ても褒狀格にあるが今回畫題探究のため渡鮮當分滯京に付立花師團長松永長官美濃部總裁其他の發起にて一般よりの揮毫を依賴する事となりしが希望者は鮮銀內會爾秘書役宛申込むべし規定は山水尺五廿圓尺八廿五圓人物尺五廿五圓尺八卅圓也と

青鳥大會盛況

有樂館に上場中の三大寫眞

三十一日よりサッポロビール會社後援の下に本紙刷込みの割引券持參のサッポロビール愛飮家のために各等半額の割引を爲し居れる有樂館のブリゥバード大會第一回は初日以來頗る好評にて大入の盛況を呈しつゝあるが、今回上場の寫眞は何れも優秀なる西洋物にして『人の力』『アンブロシヤ』『月宮殿』共に高尙なる毛色のもののみにして各階級の人士の觀覽を惜むるを辭せざるもの、兎に角西洋物のみにて觀客を呼ばんとする今回の企ては時宜に適したるものといふべし

天勝と軍人

天勝一座は二日の日曜を軍人及び同家族のために大割引を爲したる結果二日は軍人連の觀客頗る多く滿員の盛況を呈したり

お伽巡禮（一）

浜光生

□永登浦□

◇赤い負笈白き脚袢は身につけざれ共、ここは大正の巡禮樣で身輕ないでたち、父母の恩も深き粉川寺……チリ、ン、と御詠歌のかはりに『或る處にお爺さんとお婆さんがあつたとサ』で、私の日頃求めて止まぬ朝鮮全道の可愛い少年少女達に惠も深き父母に廻り逢ふやうな心持ちで……

◦一日の十二時十分南大門發の列車に乘り込んだ、ポプラ、アカシヤの隧道をくゞりぬけくゞりぬけて行く程に一時前、汽車は第一の訪問地たる永登浦驛に着いた、プラットホームに降り立てば學校組合管理者たる[illegible]〳〵一人で寥してゐた

○○毎週ポンチ＝蠅とくしやみ○○

そろ〳〵暑さが近づいて來ましたそれと共に、うるさい蠅の季節になりました、世の中に[illegible]

（一）頭の新郎新婦は先づ人間を明細に見物しようと云ふので其れには自分達の安全を計る爲めに居眠りをして居る人間を見付けて先づボンノクボーからはげ頭に登る事に致しました

（二）はげ頭の見物を終つて其れから耳を見物して居るとはるか向ふの方にデコ〳〵した鼻が見えます一匹は耳の上に立て一匹は穴の處に腰をかけて見て居ります

（三）居眠りのおやじさんは耳の穴がむづがゆいのでふと息張ると鼻の穴から大きな風船玉が出ました蠅の夫婦は之を眺めてさても面白き現象かなと云ふので之れから鼻の見物と出かけました[illegible]

（四）やがてもう一匹の蠅も中に這入らうとして穴のふちに足をかけました時[illegible]ムヅ〳〵とこめかみ初めました[illegible]

[illegible]皮革株式會社常務取締役、遠藤光、吉原組合書記、村田京日販賣店主に迎へられて原町の浦田旅館に一先づ落付く

◇傳をつらねて平和な町を通り通りぬけ、青い畑中を通りぬけ、葉櫻繁れる宿場の高等小學校に向ふ、嬉々たる愛らしき人々は葉櫻の陰でニッヒッと私等の顏を見ては笑つて居る、一時半上野校長が開會の辭を述べられて紹介して下さる直に演壇に立つ八となつた

◇『太郎』『大少尉』『槇太郎』の三席を演ずる本校の生徒二百五十名の外普通學校の上級生が大分見えてゐた父兄の方も澤山來て下さつて三百餘の聽衆に會したのは何よりも嬉しかつた、しかしおかげで普通一年から高等までそれに普通學校父兄あらゆる程度の人達に向つて話する事は私には隨分苦しい事でもあつた

◇[illegible]

讀者文藝（一等に五十錢の書籍券を呈す）

◬一口噺

○甲小供「君は舶來の菓子を食つた事が有るか」乙小供「僕の家は此頃舶來の米を食つて居るよ」（一等） 龍山錦壽洋行內 茂久平

◬[illegible] 龍山 多 美 郎

◬良ちやん『[illegible]かな日うむ中々ハイカラが居る』 仁川 [illegible]

◬[illegible] 京城 菊 水

[illegible]

◎鐘路校 開校記念日 お伽會の大盛況

[illegible]日特に來會せる同窓生多數、笑つたり泣いたり歡を盡して意義ある記念日の半日を樂しく[illegible]

[illegible]の際官は銃器を携へ現場に赴きしも早くも賊は附近の山中に逃れ入りたるを以て里民と共に力を協せ[illegible]

◎偽名の賊

慶尙北道慶州郡[illegible]山內面大賢里朴在元の弟朴大池[illegible]

◎連絡船上陸客

一日午[illegible]

□課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

天氣 曇一時晴れ

日出 五時十四分 日沒 七時四十九分

商業登記公告

[illegible]

右大正七年[illegible]月[illegible]日登記 京城地方法院 水原支廳

[illegible]

右大正七年六月壹日登記 海州地方法院 平山出張所

宇治茶直接販賣

御銘茶定價表（二百目ニ付）

玉露製 [illegible] 煎茶製 [illegible]

問屋 製茶營業所 京都七條東洞院角 井上六平

東洋捕鯨株式會社特約販賣店

鯨問屋 香月商店

（京城府明治町二丁目四八 振替口座京城四八四六番）

◎尾羽毛皮各種著荷

鐵道貨物運送取扱 一般運搬請負

乗二浦驛 守屋組

日鮮人夫供給 多少に不拘御用命御引立願上候

倉庫完全 債券買入 質 杉本質店 京城櫻井町二丁目 電話三一〇三番

大日本優等清酒 ルック

品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 醸造元 嘉納合名會社

京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三[illegible] 振替口座四[illegible]

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著

日鮮會話精通

袖珍總クロース頗美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢

諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む

凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし

眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次所 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂

旅行具專業 岩田鞄店

勸業債券高價買入

貯蓄の實行は最も手輕なる月賦買

一ノ組 六十八回 六十七回

二ノ組 六十七回 六十六回

三ノ組 六十六回 六十五回

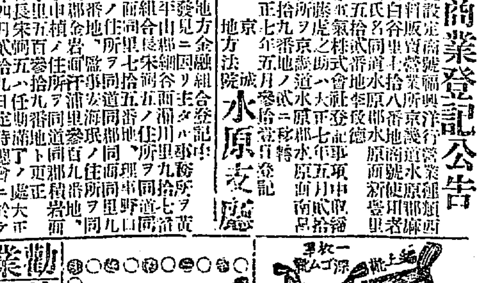
二千圓の每月くじの樂める組合

支部代理店出張所增設

東京九の內有樂町 大日本勸業合資會社

新桑種大賣出し

田中種苗園



編上靴 上靴 ゴム深靴

値段は高いが龜田の靴なら安心との世評

龜田靴店

◉支那南北軍の現勢

◆湖北西部に激戰開始さるべし

第二路軍總司令張懷芝氏は再三其の辭職を申出で爾來漢口に閑居して歸心矢の如く、其の副官長は已に先發として山東に歸り第一路總司令の曹錕亦戰に倦みて、爾來其總司令の職を辭すること幾度最近更に病を故を以て賜暇歸省を申出で來るあり奉天軍副司令徐樹錚獨り南伐貫徹を呼號すといへども已に衆人の徹せざるところ彼亦今に及んで南伐の容易ならざるを知り近日意氣頗る揚らざるが如し、中央政府は張曹兩氏の歸省請願に對し若しこれを許すに於ては敵前將卒の志氣に影響せん事を慮り極力慰留につとめ其の歸省を阻止せんとす即ち第二路軍は目下張宗昌及び施從濱氏主となり湖南督軍張敬堯氏の指揮に基づきて活動し第一路軍は專ら吳佩孚、田樹勳氏の隨意行動に任せ吳佩孚氏は曹錕氏に代り恰も第一路總司令たるの感あり、斯の如く北軍は主腦已に戰に倦みて僅かに將卒のみ個々に活動し一勝一敗一進一退緩慢なる戰爭を續けつゝあり今左に最近に於ける各方面の戰況を示さん

湖南方面

湖南南境にありては吳佩孚氏の率ゐる第一路軍は第七師第十一師の四團直隷混成第一旅長王承斌氏の指揮の下に祁陽より南進し已に永州(卽ち零陵)の北方二十支里なる永安舖を占領し目下零陵に總攻擊を開始し南軍激戰中なり、南軍總司令譚浩明氏は同地に在り同地は南北戰爭の烽火擧がりし源泉の地なれば其陷落と否とは全戰局に少からざる影響あるべし東部は耒陽、施從濱氏攸縣、茶陵、安仁を守り南軍の逆襲に備ふ同地附近には馬濟氏の率ゐる南軍十數營あり、加ふるに土匪これに附加し勢猖獗なり西部は馮玉祥氏の混成第十六旅は常德に向つて進擊し常德の北方醴州を占領し其の先鋒は已に常德の城下に迫り居れり長沙には目下張敬堯氏第七師の大部分と奉天軍步騎砲兵二團あり尙任奉天軍は湘潭衡山方面に散駐す

江西方面

陳光遠氏の江西軍は早く境を越えて廣東に進み廣東省境の南雄は數回の爭奪戰を經て目下江西軍の手にあり、李根源氏の率ゐる雲南軍は彈藥缺乏し戰鬪意の如くならずとの報あり尙倪嗣冲氏の安武軍は陸續九江に到着し同地に總司令部を設け更に南昌に到着したるもの二營あり其の外江蘇軍の南昌に到着せしもの新編混成旅步兵二營砲兵機關銃隊各一營騎兵一營工兵輜重兵各一營あり

福建方面

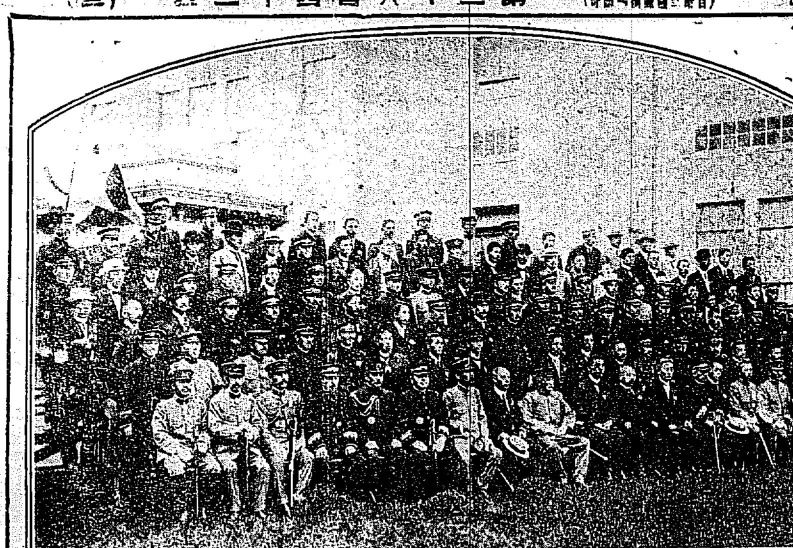
福建督軍李厚基氏の親率する福建軍は童保暄氏の率ゐる浙江軍と協力南進し目下詔安を中心として陳炯明氏の廣東軍と對抗しつゝあり、福建軍は海岸に沿うて進み廣東軍は山背に據る李厚基氏は目下詔安にありて全軍の指揮に任ず

四川方面

四川地方にては劉存厚氏尙ほ廣元を固守し頻りに援兵の派遣と彈藥の供給を電請す、最近陝西より援軍の到來するあり稍その勢を復活したるが如し

湖北西部方面

吳光新軍は已に歸州巴東を占領し王安瀾軍は興山に敗退せり吳軍は引續き進擊し其の先鋒は二十六日已に巫山を距る五十支里の地點に達せりとの報あり巫山には目下雲貴軍集中し其の數約一萬二千ありと傳へらるれば同地にては不日大激戰開始せらるべし(北京)



◆朝鮮醫學會總會記念撮影

(京)紙上寶探し(第二回)

本社は京日愛讀者の爲め面白くてお樂しみになる紙上寶探しを始めます、寶を探す場所は六月四日と五日發行の京城日報夕刊に出て居る『お伽噺』の中に本社名京城日報が幾つ隱してあるかそれを探し出して葉書でお知らせ下されば宜しいのです

◆締切は六月二十日迄◆宛名は京城日報紙上寶探係 ◆正解者には抽籤で五十二名に左記賞品を贈呈します但し本紙月極め讀者でなければ無効です

賞品		
一等	反物	七名
二等	應接室置時計	十名
三等	パナマ帽	十五名
四等	浴衣地	二十名

◇當籤發表は七月三日の本紙上、發表と同時に賞品贈呈す◇ 京城日報社

◉咸北と京城

咸北道は地勢上に於ては朝鮮半島の一角にあるも現在の狀態としては他道との交通は海路に依るの外絕對に行はれざるを以て實際に於ては一島嶼に異らず故に海運の便否は至大の關係を有するが現在淸津地方と京城方面との交通狀態を見るに淸津元山間を直航して一晝夜にして到達し得るは三分の一御用船三隻が各往復交互に之を爲すあるのみ之に亞ぐは朝郵會社の補助航路二隻と橫斷航路一隻計三隻が往復共に城津に寄港し一晝夜半を要するなるが此以外の沿岸航船に於ては三日乃至四日を要するを以て淸津京城間通信には最も早きも二晝夜遲きは五六日普通三四日間を要するなり故に一般通信上又た貨客の輸送上淸元間の定期直通航路は日本海橫斷航路以上其の必要を認められ過般淸津に開催されたる郵便局長會議に於ても討議されたるが本航路を開始するとせば船腹不足の今日何れの會社に命令するも多額の補助を要する事明なるを以て之が實施は容易ならざるが如きも北鮮地方に執りては最も急務あるを以て一般に之が實現の速ならん事を望み居れり(淸津)

◉雨季と農作

北鮮地方の雨季は例年六月下旬より七月に掛けてなるが本年は五月十日頃より連日の如く濃霧と霧雨にて殆んど二週間に亙りて快晴の日とてはなき模樣なるが之れが爲め航海業者一般旅行者等は甚だ不便を感じ居るも一面農業者に取りては作物の發芽期とて此上なき雨にて爲に發芽充分なれば本年の農作は今後の天候に依り豐作なるべしと喜び居れり(淸津)

◉豆滿江方面貿易

豆滿江沿岸陸接國境貿易は年々平均二割の增進を爲し大正六年中の輸出入總額二百十八萬圓に達せるが之が地方別は間島方面四割琿春方面五割露領方面一割なり而して輸入の重なるものは間島方面にては粟を第一とし木材之に亞ぎ琿春方面に於ては木材を主とし粟生馬之に亞ぎ露領方面にては木材生馬水產物の順位なり又た輸出の重なるものは間島方面にては魚類紙牛煙草米の順位琿春方面にては牛を主とし酒精石油露領方面は生牛石油なり(淸津)

◉隱元豆と麥

近年間島に於ける輸出農產物として世間に知らるゝに至りしは白隱元及び小麥の二品なるが之が產額に就て調査せし所に依れば白隱元は大正五年四千二百石の產額に過ぎざりしも六年には一躍二萬一千石に達し更に本年は六萬石の產額あるべき見込なり又た小麥は昨六年の產額六萬五千石なりしが本年は十萬石に達すべく而して間島與地なる敦化、安圖兩縣地方の生產品をも合すれば本年の兩品產額は白隱元八萬石小麥十二萬石にも達す可し(淸津)

◉平壤地方に於る貧民生活狀態

◆平壤警察署の調査◆

物價騰貴の聲も昨今では聞き飽きたが此の嘆聲は未だ止みさうにも思はれぬ依然毎日の如うに昂まつて來る、其處で平壤に於ける鮮人貧民窟の現在生活狀態に就て平壤署の調査する處に據れば彼等は粗末なる草葺溫突一間或は二間に多きは四五名の家族と共に居住してゐるが是等の者は

粟や小豆を混食し

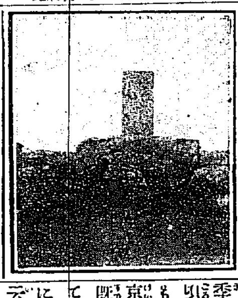
之を常食となし副食物としては味噌、漬物等で少々贅澤な向きで鰯位に過ぎない、并して凡を三錢九厘一人一食か平均して居り一日の額となるが勞働者でないものは二食で濟すが勞働者は三食を取るから仕うしても一日十二錢は入るそれに家族が三人も四人もゐれば家賃其他の費用を合して尠くも一箇月に十五圓以上は大丈夫費消する、其處で勞働人夫賃金を調べて見ると先づ平均收入が

六十錢見當である

但し雨天休日其の他で一週間は働くことが出來ない、さうなると忽ち生計費に差支へが來る譯である、然し勞働者はまだ上等の分でそれ以上の貧困者が澤山ある、一日の收入が十六七錢から三十錢位の者となると實際憐れなもので其日の生計にも苦しんで常に衣服杯は襤褸を纏つてゐる、處が勞働者の獨身者になると

彼等仲間の兩班株で

一日二十四五錢の本賃位に酒は好き時と場合とに甘ひ酒の一杯も飮み鼻唄氣嫌で浮れてゐる者もあるが多くの家族を有する者は勞働者と遞給者を問はず實に氣の毒な狀態である(平壤)



慶南泗川新寨の戰蹟記念碑 慶長の役島津義弘軍が三千の手兵を以て十萬の明軍を擊破したる古戰蹟なり(五月二十四日以降の紙上に連載せる東郷海軍中將の談參照)

農況―慶南―麥

慶南晉州郡の小大麥作は昨冬播種の當時に於て甚しく寒害を受けしも本春に至り適度の降雨により生育頓に回復し目下出穗乳熟中にして作柄平作以上にして昨年に比較し三割三分の增收の見込にして收穫豫想は小麥六千〇十九石、大麥五百三千三百六十ィなり(晉州)

◉胡藤の散る頃 鱸が能く釣れる

◆今年は多い樣である◆仁川名物の鱸が獲れる

海の釣は大抵六月の中旬頃から漁季とせられて居るが今年はもう此頃から盛んに釣れ出した、仁川では京龍の遊漁家內として昨年から盛んに遊漁家を呼んだ九山組では既に去る二十九日に舟御しをやつて先づ最初の釣に鱸の大尾七八本にメバル其他十尾餘りも揚げたと云ふ今年は殊に鱸が多いとは一般に云ふ事であるが此の模樣だと七月にも這入ると遊漁は妙らしい豐漁で沖釣は隨分賑ふに相違ない、二尺餘りの鱸は此の頃では容易にかゝる殊に一日の土曜二日の日曜頃は最も小潮で釣加減であるから京龍から出掛くる一番釣の連中も隨分多いだらうと既に相當の準備を整へて居る、胡藤の花の散る頃の十四五日間には鱸が最も好く揚るとされたもので時季から云ふと此の小潮には頗る有望であると云つて好い因に最も干潮時で恰度好い潮の變り時刻を記すると一日は午後四時半頃二日は五時半頃が最も好いから午後一時頃から舟を出して漕行くと最も其の前後の釣が面白いだらう(仁川)

給仕入用

內地人給仕入用希望者は履歷書携帶申込あれ(制服を給與す)

京城日報社編輯局

サッポロビール後援

回第二 活動寫眞 有樂館 ブリユーバード大會

サツポロビール愛飮家優待券 (自五月卅一日至六月六日)(一枚二人通用)

サツポロビール愛飮家に限り本紙切拔の上御持參の御方は入場料半減可致候

大日本麥酒株式會社京城出張所

株式會社羽田造船所株式募集

木造船と將來

船腹不足の急を補ふには急遽に且つ低廉に建造し得る木造汽船に如くものなし木造汽船としては巨大の型式を建造する能はざるも而も進步せる汽機を使用し得ると共に材料蒐集の容易なるの利あり是れ米國始め各國が大戰後に於ても木造汽船の隆盛なるは當然にして決して一般の需要を缺くものに非ず

本社の特長

一、本造船所は帝都の咽喉たる羽田海濱に在るを以て横濱及東京灣沿岸に出入する船舶修理に至便の關係あり材料蒐集の容易なると低廉に建造し得る利あり三、既設の造船所を買收し繼承し事業開始後直ちに收益を舉ぐるの三大特長を有せり名は新設なるも日子と資本の固定を省ぶき殊に一層本事業を有望ならしむんとする經營の方針は一層本事業を有望ならしむ

當初の配當率

既成の造船所と共に建造中の汽船とを買收するに在るより如何に收入を低く支出を高く見積り尙諸般の積立及び償却金を控除するも優に五割以上の配當を爲し得るの確信あり造船業の有利なるは幾多の造船所が莫大の好成績を擧げつゝある左の實例に徵して明らかなり

同業會社利益配當率

播磨造船株(五十圓)卅割	川崎造船株(五十圓)四割	
函館船渠株(五十圓)廿割	同新株(廿五圓)四割	
鳥羽造船株(五十圓)廿割	浦賀船渠株(五十圓)四割	
石川島造船(五十圓)三割半	同新株(廿五圓)四割	

募集要項

一資本金總額 百五拾萬圓

一壹株金額 五拾圓

一募集株數 參阡株 (總株數參萬株の內、貳萬七千株は發起人及賛成人に於て引受け濟み)

一申込證據金 壹株に付金貳圓五拾錢

一申込株數單位 拾株

一第壹回拂込金 壹株に付金拾貳圓五拾錢

一申込期間 六月三日より六月十二日まで

一募入方法 應募株超過の場合は發起人に於て適宜之を決定す

(定款目論見書及申込用紙は左記取扱所並に創立事務所に備へ置き候)

發起人及賛成人(イロハ順)(○印は發起人)

[illegible]

株式會社羽田造船所創立事務所

創立委員長 根岸錬次郎

顧問海軍主計總監 同 永吉助

工學博士 吉田朋吉

申込取扱所

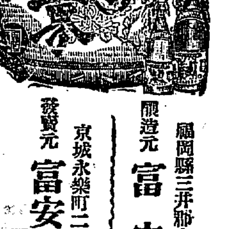
[illegible]

東京市京橋區木挽町 株式會社羽田造船所創立事務所 電話京橋四〇三四番(振替東京四一六一一六番)

內科 小兒科 村上病院

京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 院長 醫學士 村上龍藏 電話六一三番

優等清酒



福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店

京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

樽賣御斷り

電話二二七七番 京城(壽座隣)

山田耳鼻咽喉科 福田齒科 醫院

◇開業十五週年記念

永道具一式 洋燈類 並附屬品一切 硝子食器具 舶來食器具 菓子水飴瓶

商標(信) 標本藥局 銃類各種 印肉入 インキ入 硝子製品一切 電氣傘各種 蠅取器各種

夏物全部新荷着

自祝特別大勉強仕候◇

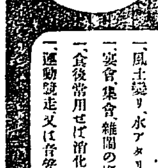
京城本町二丁目 長門屋商店 橋本信次郎 電話一二三三番 振替一八七三

橋本齒科醫院

京城南山町三丁目(電氣會社橫路入る)電話二九二〇番

日本齒科醫學士 橋本清次郎

懷中要藥 自衛の為の 清心丹



一赤痢、コレラ、腸チブス等ノ豫防
一風土變り、水アタリ、時候アタリ
一宴會、集會、雜閙の場所にて起る[illegible]
一食後常用せば消化を進め胃腸を健にす
一運動競走又は音聲を使ふ時
一嘔吐、下痢、胸腹痛
一過酒過食、食アタリ
一汽車汽船等の不快
一心神勞結したる時

振替口座東京四六八 東京日本橋元大坂町 高木與兵衛

外科 皮膚科 瀨戸醫院

京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番 (診察夜九時迄)

醫學士 瀨戸潔

右何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第九十四席

義輝公一色の言葉を聞いて　義『ナニ謀叛人とは……』淡『今日清水寺に參詣のため上洛したる河内の人數、何れも三好の一黨にて松永岩成を初め先達てより在國したる者共、物具に身を固め御所の周圍を取卷き攻入らんといたす有樣に一同必死に防戰の最中にござります』義『ウムさては三好の一族早くも兵を擧げ押來りしか、して人數は』淡『凡そ一千五六百人不意を討れし味方は小勢、何を申すも防ぎ兼ね、早大手は破れましたれば我君にも御用意あつて然るべく拙者は引返して一働き仕ります御免』と言訖つて跡へ取つて返す、義輝公無念の拳を固め『憎くき三好松永奴が早くも我を亡ぼす手段を廻らし、此處へ押寄來るか、何はともあれ母上に過失あつては申譯なし、急ぎ二條堀川の第へ落し參らせん、ヤア〳〵者共、敵來らば防ぎ矢射よ』と命じ給ひ急ぎ奥へ走り入り給ふ、間もなくドッと起りし鯨波の聲、大手の門を打破つて乘込來る三好の一黨、白地に黒く釘貫の紋打たる旗を靡かし、鐵砲の巣口を揃へて打掛け〳〵ドッと聲を擧げて御所中へ亂れ入り、直一文字に將軍の御殿を目掛けて押寄せ來る、中にも岩成主税之助馬を進めて大音上げ、左『武運に盡きし義輝公、因果應報の理を知らば速やかに御自害あれ、左須介錯仕らん』と罵しつて士卒を下知して門を打破り槍先揃へて亂れ入る、此時居合せましたる人々は一色淡路守秋成、彥部雅樂頭晴直、細川宮内少輔隆是、武田右衞門佐信豐、上野兵部少輔輝清、杉原兵庫介晴盛、高伊豫守師宣を初めとして各々不意に驚きながら固より武勇の人々屈強々々より馳出で僅かの人數を指揮して茲を先途と防ぎ戰ふ、されども敵は大勢味方は二百人足らずの小勢、殊に鐵砲烈しく打掛るに依つてバタ〳〵打殺され、大手の門は打破られドッとばかりに籠入る敵の人數、三好下野守政康被に突つ立ち大音上げて　政『手間取らば加勢の人數走付け面倒なり、早く火を放つて燒亡ぼせ』と下知すれば心得たりと池田丹波守早くも部下に命じて風上より小屋へ火を掛けた、折からの風に煽られて業火は炎々と燃上る、榻の下より鐵砲打込み槍先揃へて突いて入る、御所方討たるゝ者數を知らず、此時義輝公早くも母君と御臺所を迯さんとしたまへども敵四方を取卷いて一寸の隙もなく仲々迯れる事は出來ない、内室近衛氏と母君の慶壽院尼公言葉を揃へて　近『我々も君と共に死出の山路を越ゆる心得でございます』慶『尼も御身を討たせて何樂しみに生永へやう死なば共に死ぬ覺悟、併し雜人輩の手に掛るは殘念、其方も潔よく生害せよ』義『仰せにや及ぶべき、されど憎くき逆臣一度手痛き戰ひして一人なりとも敵を討取り、死出三途の供を殖さねば成らぬ、義輝が最後の働きを此世の思ひ出御見物あれ』と御弓を取つて表御座所へ馳出で給ひ敵を待つ所へ亂れ入る三好の人數、不忠の逆賊天誅を受けよと差詰引詰射て落す、矢庭に倒るゝ者三十餘人、其弓勢に恐れて近寄る者もなし併しながら運の盡たる所か弓絃ぷつと切れたれば殘念なりと弓投捨て槍を執つて片ツ端から突伏せる、名に負ふ猛將が最期の働き仲々手に立つ者もない、處へ走來つたる十河十左衞門　十『ヤア〳〵義輝公の御首は斯申す十河十左衞門頂戴仕つらん』と槍を捻つて突いて掛る、折しも飛來つたる一色淡路守　色『推參なり』と一刀を揮つて渡り合ひ、忽ち十左衞門を其處へ切倒して　淡『我君には雜人輩を對手の御働き見苦しく存ずる早く御生害の御用意あれ』と言捨て取つて返す、義輝退かんとする所へ又もや走來つたるは敵將池田丹波守、見參と呼はつて突いて掛つた。

書画用　7　絖画絹　京染呉服商　たまや出張店　京城水標町二　電話一九六番

人蔘ミルクキヤラメル

▲女髮　美髮元祖教授三ケ月　生徒募集日本全國於　卒業會則郵券三錢送れ　京城本町一丁目　婦人高等美髮學會

暦

六月四日九星　舊四月廿六日壬午　本命九紫南除大安

▲九紫●氣短高く嘲かるゝ●か受んさす謹(つつしみ)而新事見合西方は吉旅行南▲一白●油斷大敵の日新事手控縁事は吉行條作法を守らるべし▲二黒●慶福の日轉居旅行商入學名望求職採鑛金件好結婚縁談等萬吉▲三碧●開運成就の日萬事で利有殊に女子の婚約を結ぶに妙也▲四緑●我の爲に勇む日萬進で大利有り待人良報なく獵て來る▲五黄●進取の日轉居開業入學名弘求職金件資訪縁組等皆吉物に勝の日▲六白●途途た事有日新事手控縁事は吉旨物に用心せらるべし▲七赤●目算違ひの事有日新事手控縁事は吉佳借の口入等を禁ず▲八白●禍の日轉居入學金件名望求職川漁婚約等許川願等萬吉

演藝案内

有樂館　東京小林商會滿鮮一手代理店　米國ユニヴーサル會社特約　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話(階上)五九七番(階下)二〇五番

當る卅一日より六月六日迄文藝三大寫眞公開　第一回ブリウバード大會　米國ユニヴーサル會社ブリウバード映畫　◎森林美譚『人の力』全五巻　…(以下省略)　米國ユニヴアーサル會社ブリーウバード映畫　◎人情活劇『アンプロシヤ』全五巻　…(以下省略)

壽座　京城壽町　電話五七八番

▲今度參ります日本少女歌劇一行は藝術座の須磨子劇に大阪の寶塚の少女歌劇が合同した樣な目先きの變つた者ですから是非御覽下さい　▲六月三日午後七時乘込　○六月五日午後五時初日開演　出演種目説明　○歌劇とは歐洲の芝居を日本語で演出する劇であります　○喜歌劇とは滑稽を演ずる歌劇であります　○社會劇とは新派の現代的に進歩したる劇であります　○喜劇とは本會の喜劇は高尚家庭的のもので役者のするのとは違ひ…

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

當る三十一日より大寫眞提供　▲英國チヤリーチヤプリン會社特製　▲滑稽活劇『チヤプリンと傘』長尺　○米國ヴアイタグラフ會社特選品　○泰西人情劇『女運轉手』八千呎　▲舊劇維新偉人『天下の糸平』三巻　▲新派大悲劇『萩江』全五巻

黄金館　京城黄金町一丁目　電話二六三七、二二六六　天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店

當る六月三日より特別大興行　▲喜劇ピンプルさん寫眞帽子　▲滑稽旅行船の恐怖　▲特別大撮影御村…　…四郎五郎市川延十郎大合同　舊劇天正豪傑毛谷村六助　新派大悲劇『色のみだれ』全十三…

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

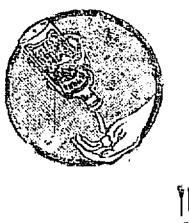
△五月二十五日より開演　東京浪界の覇者　○東都浪界青年花形　○關西浪界重鎭千歳家若藤　吉川家辰之助　九州男　合同競演會　▲(前座)貝敗名出演　▲義士傳(若虎)　▲播隨院長兵衛(芙蓉)　▲乃木將軍(金茘)　▲土産(辰右衞門)　▲村上喜劍(寛永三馬術(九州男)…　入場券一切御斷り

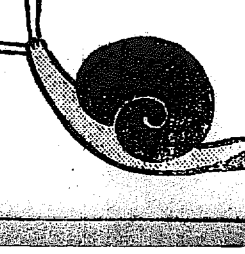
ルーミサク　特製品
りん病　急性慢性に不拘最新藥淋疾…　京城黄金町三丁目　振替京城三三七番　山田文殊堂藥房

一服にてきゝめある　新藥　清腸　セイチヨー　オブラート添附　くだりどめ　高貴藥　配合
主治　腸加答兒、痢病、裏急後重、霍亂、水傷、其他食傷等より起る一切の下痢病
價　金拾錢　金廿錢　金五拾錢　金壹圓
本舗　大阪道修町　高橋盛大堂藥局　同心齋橋　高橋盛大堂分店　發賣
●各地到る處の藥店に販賣す

周易　介石堂　明治町三丁目　岡村介石

七ヨツノタツラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液　今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す送料内地八錢滿鮮卅錢臺樺卅錢　東京神田和泉橋際　四十錢　二十錢


顔を生々と　ホンノリ色白くする
レートフード
=▲日焦がしません=
レートフードの新美容素と強い精分は、日焦を防いでお顔の根底から整へてゆきますから、附けてサラリと氣持よく其上ホンノリ色白くなる作用は實に上品で美しく、此節の素化粧料、隠化粧料として天下一品で厶います。
本舗　東京　平尾賛平

梅雨時に
晴々しい氣分でゐるには、
口中を清潔にし、
齒牙を健全にする
ライオン齒磨を
朝晩お使ひになるのが、一番
適當で、有効で御座います。

ライオン齒磨本舗　ライオン石鹼本舗　東京　小林富次郎　支店　大阪・名古屋…
(947-7)

京城日報

第五版

六月三日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金七拾五錢　[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　[illegible]　印刷人　小川三之介
振替口座京城三〇〇番

[illegible]すべく[illegible]米國政府は昨年來食料たるべき穀類の耕作を奬勵し[illegible]の增加なり昨今到る處天候宜しく棉の發育に適するを以て收穫良好なるべく米國全體にて千五百十[illegible]

州	昨年	本年
ノース、カロライナ	[illegible]	[illegible]
サウス、カロライナ	[illegible]	[illegible]
ジョージア	[illegible]	[illegible]
フロリダ	[illegible]	[illegible]
アラバマ	[illegible]	[illegible]

▲開戰以來の增減　開始當時卽ち千九百十四年八月に[illegible]戰爭[illegible]百四千萬六千[illegible]後者三千二[illegible]百萬俵に下り收穫も[illegible]者の千七[illegible]者は千百萬[illegible]を來し千九百十六年十二月には[illegible]育市價生綿一封度二十一仙五厘に上りたり然るに之が一時的反動と[illegible]認め棉の耕作を爲すもの少からず[illegible]ため過去三箇年間引續き棉の生產比較的豐富ならず三箇年間合計產額[illegible]く減少し其結果相場次第に騰貴し[illegible]と竝に今年度耕棉業者の耕作を刺戟するに至りたるものなり、[illegible]廿仙位の市價にて十分利益を擧げ得るのみならず戰爭のため政府[illegible]に於て棉製品を需要すること多き[illegible]如し(在紐育矢田總領事報告)

東京より　在京　一記者

遞信監察制度

○遞信大臣は今回新に省內に遞信監察官を置くの制を設け其官制は目下樞密院に御諮詢中にて不日御裁可を得て公布の運びに至るべく此制度實施の上は郵便、電信、電話の取扱も相當の改善を見るに至るべく兎に角時弊に適中したる一施設たるを失はず候

○遞信大臣一擧の下に在る遞信從業員は其數約十萬にして之れを包容する官署亦一萬を下らず候是等吏員を統率し分秒を爭ふ事務に遲滯なからしむるは一と通りの苦心には非らざるべく是までは戰爭の影響上經費に不足を來したる爲め定員を缺ぐ場合多く爲に業務上の緩怠を將來したるものと被思候

○遞信業務改善の急務は人員の補充も左る事ながら從業員の能率增進と監察制度の勵行とは急務中の急務に候甲は時勢に伴ふ進步として乙は過失を矯正する方法として

○從來遞信部內には各地方遞信局中に一の監理課を置き之をして監察の任務に當らしめたるも其吏員は悉く兼任にして專念監察事務に從ふ能はず持に自己の執行したる業務の過失を發見摘發するは難事中の難事にして制度其物は存在するも死法と擇ぶ所なき實情に候

○現時世界の大勢は駸々乎として飛行機により郵便物遞送を爲す程に進步し來り候折柄我邦獨り晏如たる能はざるは申す迄もなく先づ監察制度を創め缺陷を發見して其改善を計らんとするは現遞相の意見に候熱心に此制度を勵行せば從來世上に頻鼓せる非難は大に之を緩和するを得べく從つて遞信業務の改善に成功し得べきものに候

勝敗の決此の一戰に在り

愈々第四次大攻擊開始

四度目の大攻勢は開始せられた！獨軍は五月二十七日午前ランス、ソアソン間の英佛軍陣地に對し又フオール、メゼール間の佛軍陣地に對し幅廣き戰線に亙つて猛烈なる砲擊の後、強硬なる攻擊を進展せしめて居るとは、英軍司令官

▲ヘーグ元帥の公報である。敵は遂に期待せられたる第四次攻勢を取つたのである。獨軍が七十萬の大軍を以て四月廿六、七日の兩日に亙つてケメル高地に最後の肉彈を投じて以來、西部戰線は火の消えしが如くに靜まつた、併しながら獨軍がアミアン方面にラ、バツセ方面に打ち込んだ大楔子は到底此儘にして止む可きでない、何時かは

▲捲土重來の勢を以つて現る、事は火を見るよりも明かであつた。實際獨軍はケメル高地獲取後、矢繼早に第四次攻勢を取るには、戰鬪正面の兵が餘りに疲勞し果てゝ居た、無論彈藥や軍需品の缺乏もあつたに相違ないが、其れよりも先づ兵の差替へ、卽ち戰線に於る兵の交代を行はねばならなかつたのである當時獨軍は總豫備として約百萬の兵は未だ戰鬪に加へずに持て居た此總豫備軍と疲勞した戰線の兵とを交代せしめ其上三回に亙つて失つた兵數の補充を行はんが爲め

▲東方より大兵輸送を行つた、而して其の總兵力も四百十餘萬と測定さる、此を三月廿一日の大攻勢當時と比較せば五六十萬の增加である。此に引き替へ聯合軍は三月中約四百萬の兵力を保つて居たのが、今日では三百七十萬弱の兵力となつて、而して聯合軍總司令官フオック將軍は六十萬の總豫備軍を擁へてアミアン南方に陣し、ヒンデンブルク元帥は八十萬の總豫備隊を率ゐて白耳義の野にあり虎視眈々として

▲戰線の突破を斷行せんとして居る獨軍としてはアミアンを拔いて英佛兩軍の切斷にあるが、アミアンの守備は非常に堅固で、此を陷落せんとせば多大の犧牲を拂はねばならぬ。アミアンの設堡陣地は半永久的のもので十五基に亙つて半圓形をなしてゐる。獨軍は最初難なく之を占領せんとして失敗に終つた。されば今や恐らく此希望を捨て、ケメル高地より更に猫山を占領し遠くカッセルの高地を目標として所謂ダンキルクの線に向つて

▲決定的の突破を行はんとするのではなからうか。併し第二次は第一次より小にして、第三次は第二次より更に小であつた。然らば第四次は更に第三次より弱くはあるまいか。唯玆に不安なるは獨軍が若し獨軍にして第一次攻勢當時アミアンを目標として進展した時の力を保たば恐らく現戰線卽ちケメル地方より更に五十基も突出するであらう、然らばダンキルクの線に達するは云ふまでもない事である。然し聯合軍とても有らゆる力を盡して防禦的陣地を布いて居る。何れにしても若し今回の攻擊が果して決定的大攻勢であるならば其は

▲世界の運命を決す可き戰であらねばならぬ。獨軍の戰線突破は聯合軍の敗亡を意味し聯合軍の勝利は獨軍最後の蹉跌である、此の世界的運命を決する者は卽ちヒンデンブルグ元帥とフオック將軍の雙肩に懸つて居る。第四次大攻勢は如何に進展するであらう乎。(二十九日—東京)

獨逸の產業並に商權擴張策(三)

植民政策(六)

賀田直治

次に、獨逸人の露國に於ける經濟關係並に事業經營方法を概述すべし

●露國に●於ける●獨逸人の事業●經營方法(朝鮮銀行調査局報文抄譯)

露國に於ける獨逸人の諸事業經營法は系統的にして且つ廣汎なり。他の諸外國人は自國生產品を露國に輸入供給し露國生產品を自國に輸送するか、或は鑛業、水道、電氣事業其の他有利なる事業に放資するかの二途に止まれども、獨逸人は啻に前記の諸事業を營むのみならず、第三國の生產品を露國に輸入すると同時に、露國の生產品を第三國に輸出し、又は單に有利なる大事業にのみ放資するを以て足れりとせず、如何なる小事業にも亦投資を行ひ、專ら自己資本勢力の浸潤を計り、又自國より露國に輸入するに困難なる物品は之を露國內に於て製造販賣するの手段を採り、露國人と同じく露國生產品を販賣し、巡回手代(コンミーボヤジエル)を四方に放ちて、各地よりの註文を取らしめ、露國の商習慣たる延取引に應じて、六箇月乃至十二箇月甚しきは三年に亘るの貸買を行ひ、取引範圍の擴張に努力す。而して露國商人が自ら手足を勞するを厭ひ、店頭に坐して顧客を待つの惡風あるに乘じ、之が爲に高端の煩勞手數を辨じやり、物品の發送、搬入甚だしきは、店頭陳列に至る迄の世話をなし、露國商人の意を迎へ其の信用を博し其間大なる利益を得つゝあり。露國市場に於ける獨逸人の勢力は近年著しく增大し、這般の戰爭開始當時に於ては露國市場は全然獨逸商人の左右する處となり、戰爭開始と共に商取引關係表面斷絶するに至るや露國市場は忽ち大打擊を被り、直に商品に大缺乏を生じて狼狽甚だしかりき。就中藥品、染料、化學工藝品、醫療其の他の諸機械の拂底により大なる困難を感ずるに至り、急遽米國其の他歐洲諸邦へ註文を發して之が供給を仰ぎたれども、未だ充分なる供給を得る能はず、或種の商品に至りては之を獨逸以外に求むること能はず、今尙缺乏の儘なるもの多し。而して獨逸以外の諸邦より、露國に對し現に供給する物品中には獨逸生產品少なからざるは事實なり。元來獨逸民族は露國人と其の性情を異にし、文明教育の程度を異にし、互に相容るべからざる筈なり。

比翼塚　河南　朝比奈知泉(東京)

一叢樹竹擁頽垣。香火無人祭墓門。苔色侵碑苔半濕。菫花委地紫纈存。休言薄命由天命。終看芳魂伴俠魂。底事聲聲猶訴恨。杜鵑啼度夕陽村。

[illegible]

豫告

並行線(小說)

瀧閑村

輕く擲げた石でも時に大怪我をすることがある、心無く云ひし一言が、永い生涯に越されぬ障壁を築くことも少くない。救はるべき機會は常に逃げ去つて、原因と結果とが纏れ合ひ縮み合つて引摺つて行く。逃ひきうで遁はず、而も相並べる二線は悲しい運命を載せて竟に何處まで奔らうとするか

待ち兼ねの六月號が愈々出ました

朝鮮公論

支那の覺醒と帝國の新飛躍……中橋德五郎
朝鮮の司法(制度改革)と將來に對する希望……國分三亥
支那の工業は斯くして勃興を來した……青木戒三
滿洲對大阪貿易の趨勢(一記者)●朝鮮企業案(分春)
戰後經營上の三大策……原敬
第四十議會と植民問題●最近朝鮮の鑛業界
後藤新外相出世物語……双葉香
極東に對する米國の大野心と日本……戸水寛人
京城の鼻下長連を代表して抗議を申込む……秋草生
朝鮮に於ける交通發達の道程……村瀨鎌治郎
滯京半年(政界側面觀)……朝鮮公論社長 衆議院議員 牧山耕藏
亞細亞人の亞細亞(海外發展の根本義)……島田俊雄
永井柳太郎氏の渡歐を送る(欧堂生)●公論餘滴
鮮銀副總裁に內定した嘉納德三郎論(易水)●公論文壇●名妓番附くらべ●讀者の聲
紳士體操の學理と實驗……櫻井博士
朝鮮の事業熱と勞力問題……大村友之丞
所謂人氣藝妓の裏おもて……彌次郎兵衛
此男は！と思つたら(藝妓の譏)……某梓士
デモクラシーと日本(其の二)……中[illegible]●德五郎氏と狸
鮮滿の鐵道と植民政策の確立……安藤又三郎
戰後の世界と極東の危機……永井柳太郎

定價三十錢　郵稅一錢五厘●六冊前金郵稅共一圓八十四錢●十二冊前金郵稅共三圓五十八錢●全國書店に在り

▲購讀申込所　京城　朝鮮公論社　振替京城五七七番

大正七年五月發行

太靈道

用紙特選・體裁鮮麗　定價一部金貳拾五錢　內容充實・靈氣橫溢

春芳漸く歇み、新綠愈々深く、若葉青葉の茂み匂ひに溢れて山光水色生々の氣に滿ち、晴れゆく空に夏方に來らんとす、此時に方り雜誌「太靈道」發展號出づ！菊版百頁全誌八萬千語、悉く是れ靈辭警句を以て滿たされ眞理を求むる者、安立を欲む者、健康を要むる者共に等しく取つて繙かんか、卽ち潤然として悟入し洞然として安居し、侃然として強剛を得るの秘鑰を發見するに至らん、宣傳の爲め五萬部を增刷し之れを無代頒布す、希望者は本新聞愛讀者たる旨を記載し至急葉書を以て本院宛請求すべし、但し殘部僅少、滿員の際は謝絶すべし。

發展號　無代贈呈

(電話又は直接の請求を謝絶す必ず葉書を以て申込を要す)

—太靈道發展號揭載目次概要—

◇時代啓導の天務遂行の爲め秩序的發展を爲しつゝある太靈道の主義主張を知らんと欲するものは本誌を讀め！◇

●初夏(主元題言)●超越(田中太靈道主元)●人類生活の一新●太靈道及靈子の哲學的觀察(中根哲學博士)●日章旗の意義と太靈道●現代醫術と靈子療法比較論(笠嶋一等軍醫正)●太靈道に入りて(東野法學士)●疾患と透視(望月醫師)●潛伏症狀の發見(篠崎一等獸醫正)●太靈道の科學的批判(中谷靈學士)●靈子治療中に於る靈的現象(朝倉醫師)●靈子療法に依り聾啞を治す(笠島一等軍醫正)▽靈象研究＝靈子作用體得報告＝▽

◇精神的文明物質的文明を包容超越して新に靈的文明を創建すべき時代は來れり時代に生きんと欲する者は靈想を涵養し靈能を體得せよ◇

●太靈道特別講授會
第廿一期　自六月四日至六月十三日　十日間開催
第廿二期　自六月廿一日至六月三十日　十日間開催
詳細「太靈道」發展號參照

●太靈道及靈子術講授錄
第九期普通正會員　自五月十日至五月卅一日　募集！
第十期普通正會員　自六月五日至六月廿五日　募集！
右二期に於て普通正會員を募集し講授錄を配付し通信に依り太靈道の思想、靈理學の學理、靈子術の作用を講授す
詳細「太靈道」發展號參照

靈子療法は

●極めて嶄新深遠なる太靈道靈理學の應用にして藥品機械を用ひず諸病に著しき効驗あり、但し催眠術又は精神療法の類にあらず、施術方法は頗る簡單にして何等の苦痛危險を與ふることなく信疑の觀念如何に拘らず奏功す、慢性の痼疾急性の諸症本療法により治癒せし實例多し試みに適應症の大略を擧ぐれば下の如し。●腦病、神經衰弱、精神病、癲癇、胃腸病、肺病、心臟病、腎臟病、肝臟病、子宮病、痔疾、淋疾、糖尿病、脚氣、神經痛、中風、不眠症、脊髓病、婦人病、疾、吃音、[illegible]、皮膚病、打撲、傷、痛、其他諸症、尙又遠方の爲め直接施術を受け難き人に對しては遠隔施術の便宜あり。詳細は「太靈道」發展號を見らるべし。

直接施術　每日　自午前九時至午後四時　受付
遠隔施術　隨時受付
(休日……日曜及大祭)

東京市麴町區一番町四十二番地
太靈道本院
電話番町三〇四八

品質第一　誠實第一　賣行第一

最上醬油　キッコーリウ
釀造元　仁川港　日本醬油株式會社
京城出張所　京城大平通二丁目　電話二四五番

蠶種　夏蠶新屋生種　秋蠶白龍令藏種
桑種　高知產純魯實　鹿兒島產純魯實
繭　各地產雜種　買賣……周旋……問屋
本社製　內地賣切　殘少　豐富

龍山驛前
東亞蠶絲株式會社(長電話一三五番)
京城出張所
振替口座京城五二九九番

時間の競爭

彼我孰れが敏速に豫備隊を繰り出し得べき乎

從來の攻擊の例に依り獨軍の前進は二十九日に至りチウケン及びヲウヨク方面に著しく緩和されしが去る三月の攻擊の場合に比しるは聯合軍の爲欣ぶ可き事なり然れ共形勢の危險なるや毫も減少せず・前進緩和が戰鬪開始後四日目にして實現された・フランス撤退は結局已むを得ざる事ならんと察せらる、獨軍は目下マルヌに接近しつゝあり同地には巴里ヴエルダン間唯一の交通線たる巴里、シャロンヌ鐵道あり戰線は聯合軍の戰線に宛然楔子を打込みたるが如き形狀にして其楔子の尖端は二十哩以內に突出せり一週間前に於ては敵の突進防遏は聯合軍の主要なる行動なりき、今や聯合軍の豫備隊既に到著せるも、聯合軍の前には、敵の成功を妨害す可く、更に展開せざる可らざる最も困難なる事業あり、戰鬪は一旦終結を告げ今や彼我何れが敏速に豫備隊を繰出し得る乎の時期に對する競爭と爲れり（倫敦電報）

獨の要塞占領公報

獨逸公報に曰くライン西北の要塞陷落し獨逸軍は既に捕虜三萬五千と若干の大口徑砲を始め多量の軍需品を獲得し且若干の飛行機と共に飛行場をも占領したり又三十日獨軍公報に曰く我が軍はフエールアンタルデノアの南方にてマルヌを目指して奮戰しつゝあり（倫敦電報）

獨軍攻勢失敗に歸す

フランダースに於ける獨軍の攻勢は損害多く失敗に歸せるもエーヌに於て敵はソアソン、ランス間に於ける大突出部を突破するを得たり（倫敦電報）

驅逐艦建造新記錄

太平洋岸の一官營造船所は十六日十二時間を以て驅逐艦を建造したり造艦日程のレコード六十五日を破れるものなり（紐育電報）

過激派軍の大迂回

過激派軍はダウリヤに向ひ大迂回の運動中なり獨小衝突は幾回となく行はるゝも未だ主力の交戰無く兩軍滿を持して放たず（哈爾賓電報）

在鮮會社

拂込濟五千三百萬圓

最近に於ける朝鮮會社數は二百五十八に達しその拂込み資本金五千三百零六萬四千三百六十圓に及びたるがその組織別は株式會社最も多く合資會社合名會社之れに亞ぎ居れり乃ち左の如し

株式會社	一五三	四八、一〇七、九五四圓
合資會社	七一	二、七三三、二〇〇
合名會社	三四	二、一〇四、一五〇
計	二五八	五三、〇六四、三六〇

又以上の會社を事業別とすれば社數に於て商業の百零二社工業の五十五社運輸の二十七社多數の方なれど拂込資本金は中央銀行の一千七百五十萬圓運輸會社の一千零三十一萬五千圓工業の六百六十萬圓の順となり居れり各種別に擧示すれば左の如し

	社數	拂込資本金
農業	二	二五三、八五〇
林業	三	一九〇、〇〇〇
水産	二	一六〇、〇〇〇
鑛業	三	二、一七五、〇〇〇
工業	五五	六、六〇一、七二〇
電業	一五	一、二八九、九一〇
商業	一〇二	六、五一八、九九〇
中央銀行	一	一七、五〇〇、〇〇〇
普通銀行	三	四、一四〇、〇〇〇
農工銀行	六	一、四六九、〇〇〇
金融信託	五	一三一、〇〇〇
運輸	二七	一〇、三一五、二五〇
倉庫	四	一九三、七五〇
計	二五八	五三、〇六四、三六〇

尙ほ五月中に於ける會社新設の許可は八件にて朝鮮水産の百萬圓東萊銀行製油會社の各五十萬圓を最とし合計の公稱資本金は二百四十六萬圓なりと

各國戰費比較

大藏省理財局調査に係る交戰諸國の國富と三箇年間戰費との割合同國民所得年額と平均一箇年戰費との割合同國民貯蓄年額と平均一箇年戰費との割合並に同平時歲出豫算（一九一四年度）と一九一七年度戰費との割合對比率左の如し（東京）

●各交戰國の國富と三箇年間の戰費比較●

英國	二割九分
佛國	二割九分五厘
露國	三割三分
伊國	二割二分五厘
獨國	二割五分六厘
墺國	二割三分八厘

●各交戰國々民所得年額と平均一箇年戰費比較●

英國	七割七分三厘
佛國	六割九分九厘
露國	八割八厘
伊國	六割八分二厘
獨國	六割六分一厘
墺國	七割一分五厘

●各交戰國民貯蓄年額と平均一箇年戰費比較●

英國	四倍一割二分五厘
佛國	四倍三割一分
露國	五倍二割八分二厘
伊國	四倍一割六分四厘
獨國	四倍六割八分九厘
墺國	四倍六割六分九厘

●各交戰國平時歲出豫算（一九一四年度）と一九一七年戰費比較●

英國	九倍五割四分四厘
佛國	九倍五割四分四厘
伊國	六倍九割四分
獨國	十倍二割九分八厘
墺國	三十倍三割五分

醫學會總會（第二日）

（夕刊より續く）宮入博士の講演終了したるは午後零時半直ちに休憩となり第九回總會に於て講演すべき宿題及び擔任者を

△朝鮮人の消化器病に就て　醫學士　有馬英二君

と決定したる上一時半再び講演を開始す

▲腳氣の一例に就て　金澤探君▲再び朝鮮人參に關する試驗　齋藤帛斗君▲卵巢囊腫性乳嘴性腺腫の一例　沖津直君▲突發性眼炎の知見補遺　來賓野田三郎君▲心臟瓣膜病の一例▲宿題黴毒に就て　渡邊晋君▲內村安太郎君▲本邦製「サルバルサン」の「スピロヘータ」に對する作用の比較試驗　大島國君▲再歸熱患者の末梢血管中に於ける「スピロヘータ」に就て　渡邊修君

等夫々平素研究の結果を發表して會員を益する所あり講演者は此外尙十三名ありしも時間の都合に依り十二名は省略し千葉叔則氏の『唐辛浸出液の細菌に及ぼす影響に就て』と題する講演終るや芳賀會長は直ちに閉會を宣し列席各會員の勞を謝する所あり一同拍手喝采裡に解散三々五々朝鮮ホテルに於ける懇親會に臨めるが前後二日を通じて非常なる盛況を呈したるは朝鮮刀圭界の爲め喜ぶべき事と云ふべし

▲懇親會　芳賀會長以下醫學會員百五十名は二日講演終了後朝鮮ホテルに參集六時より懇親會を催したるが山縣政務總監を首め爾田三宅、宮入三博士並に滿洲より來れる横森、盛、野川三氏も列席しデザートコースに入るや芳賀會長の挨拶あり主客十分の歡を盡して九時頃散會したり

大阪財界便り

△生絲制限說と織物　生絲制限は米國第三回制限令に依り一割制限說を傳へられ居れるが織物界にては過般來屢々傳へられたる爲め一割前後は不得止ものと觀念し居り縱令制限發表さるゝとも夏物は既に大部分終了し居るを以て影響なかるべく冬物に對しては未だ準備中に在るを以て直接惡影響を及ぼすに至らざるが若し制限さるゝものとすれば冬物著手前に發表さるゝ方好都合なるを以て機業家は何れも手控へ氣味に成行を觀望し居れり

△米棉作付近況　米國北部諸州に於ける棉の作付は多少手遲れの氣味あり南部諸州に於ては寒氣の爲め初蒔の新芽に損害を受けたるを以て再播を必要とする所少なからずテキサス州よりジオージア州西部に植付の棉は非常の霜害を被りたり五月中旬に入りオクラハマ州南部及びテンネッシー州一帶の地方に於ては棉の蒔付盛に行はれ南カリホルニヤ州海岸地方は五月十九日頃棉の發芽期なりテキサス州中北部のオクラハマ州及びアーカンソウ州の一部を除く其他の耕作棉諸州は今週中雨量の不足或は皆無を訴へつゝあり右紐育矢田總領事報告に依る

△水銀暴騰原因　水銀は主として輸入を英米に仰ぎたるが英國は輸入困難にして專ら米國より輸入を仰ぎ居れるが今回輸入毎に特許を受けざるべからざる事となり運輸困難なる爲め目下在荷薄の折柄氣配强硬となり暴騰持續の狀なり水銀の用途は普通鍍金の裏張り藥用としての注射藥及び之を分解して昇汞甘汞等の劇藥を採取し又工業方面には從來鑛爐用として相應の需要ありしが靑酸加里の代用に勢力を獲はれたるも大熔鑛爐用としては其需要多く鑛業の發展と共に此方面の需要增加の趨勢となり昨今の輸入額約二百五十萬圓に上れり本邦には原料金砂を產せざる爲め全部外國に仰ぐ狀況也と

△塗料類强硬　塗料類は一般に原料高乃至原料不足の反面輸出好調より好況の成行きを辿りつゝあり就中白ジンクペイント並に光明丹の如きは東南洋及び印度よりの註文の殺到に滅切り好調の成行たるがボイルド油も原料不足より好調にして目先容易に軟調を呈する事は不可能の狀態也（大阪）

挿秧狀態良好

朝鮮全道は五月下旬より六月中旬の間を以て挿秧期となし居れるが西鮮地方にては從來雨少なく昨年の如き旱魃を見るに非ずやと農民の憂慮大方ならざりしも五月下旬に至つて連日甚雨あり中鮮並に南鮮地方にても適當の降雨を見尙ほ雨催ひの空にて恐らく挿秧上用水の缺乏に苦しむ地方は多からざるべく目下の狀態にては植付狀態は甚だ良好なりと

海運界の損失

朝鮮に整備したる造船所若くは船渠急設の必要ありとの前提の下に當局は曰く朝鮮に相當の造船所若くは船渠を存せざるため朝鮮の受くる有形無形の不利は莫大のものたり一例を擧ぐれば朝鮮郵船會社の如き創立以來內地造船所並に船渠に支拂ひたる資金は造船用として九十六萬圓修繕料五十萬圓に上り本年は約三千萬の見込にて更に二千噸級船を註文するとせば二百萬圓內外を要すべし右の外總督府所有船の修繕費は大小にて少なからざる額に達し更に修理のため往復に費やす時日を見込まば年額の損失甚だしき也

資金集散豫想

六月中に於ける朝鮮資金の集散狀態豫想に付鮮銀調査を聞くに收納に於て國稅及び準國稅收入は十一萬六千二百四十二圓にして水原印刷株式會社外五社の株金拂込みは五十九萬圓計七十萬六千二百四十二圓又散出に於て釜山府債の償還六萬九百四十六圓釜山府債並に國債利子五萬八百九十七圓元山水電外二社の利益配當一萬一千八百五十圓勸業農工債券利子仕拂ひ一萬三千百七十二圓にして十三萬六千八百六十六圓なり

京畿稻作良好

京畿道管內に於ける稻作現況は前年の如く水の不足は一郡もなく寧ろ昨今の降雨勝ちの天候の爲め苗丈け稍伸び過ぎの傾きなきに非ざるも一般に發育狀況好良なり

全鮮畜牛生死數

大正六年に於ける全鮮畜牛出產斃死撲殺及び屠殺數を聞くに出產數は牡十三萬二千九百八頭牝十七萬一千二十七頭計三十萬三千九百三十五頭牝牛毎百出產歩合三三、四にして前年に比し數に於て一萬七百二十頭歩合に於て一、二を增加せり又斃死數は牡五千七百十二頭牝七千五百七十一頭計一萬三千二百八十三頭畜牛毎千斃死歩合九、六にして前年に比し數に於て六百五十頭歩合に於て〇、七の減少を見たり撲殺數は牡十九頭牝二十六頭計四十五頭にして前年に比し百四十一頭を減じたり之れ國境牛疫發生數の尠かりし結果撲殺處分數の減少せしに依る屠殺數は牡十一萬二千百三十頭牝十萬七千五百三頭計二十一萬九千六百三十三頭にして牛價騰貴の結果畜牛の減少を見たるは前年に比し九萬四千三百五十頭約三割の減少を示せり

釜山近海鯖盛漁

昨今釜山近海は鯖の盛漁期に入り牧島沿岸の如きは悉く鯖を以て埋められ居るに漁業者は主として是が漁獲に努め去月二十日以後日に四萬乃至五萬餘尾價格五六千圓の市場陸揚げをなし居れる狀態にして斯かる豐漁は十三年前に於て一ツ谷沿岸迄來游せし事ありと雖も此の如くならず全く近年稀有の鯖漁なれば市場は又鯖の山を築き他は雜魚は僅少に止まり五月に入り市場陸揚げ數量八十餘萬尾に及ぶ相場一尾四錢位にして大部分鮮振へとし鮮內各地に搬出し居れるも各地に於て漁獲されし鯖は殆んど內地及び米國に仕向け巨濟島は實に二百萬餘尾次いで統營の五十餘萬尾の漁獲あり各地共素晴しき豐漁の鯖かりし釜山水產市場に陸揚するものは是等漁獲の一部分に過ぎざるも漸次漁期は北方に進み此處一週間後に至らば盛漁期終了すべしと

印紙收入概況

大正七年度四月分印紙收入は四十五萬六千六百九十圓にして前年度同月分の收入に比すれば九萬四千六十六圓を增收せり

護軍使留學生戒飭

廿一日當地に歸來せる留學生代表者は護軍使盧永祥氏を訪ひ日支協約調印拒絶を中央政府に電請せん事を請へり護軍使は彼等に教へて曰く『協約に就きては予も初め疑念を有し居たりしも此は協同出兵問題以外に及ばざるものにて若し此協約無くば日本は却て我領土に自由出兵を爲す事ある可し故に此協約は支那民國の爲め必要有利なり又諸君の擧は熱誠嘉す可きもボイコットを爲す亂暴の如きは國交に害あれば中止せん事を望む猶此問題に就き集會する時は豫め屆出で且つ秩序を破らざるを要す』と、學生等は唯々として引取れり（上海特電）

司法官異動

今回左の通り司法官の異動發表ありたり

補釜山地方法院統營支廳判事　公州地方法院部長判事　平山勘次
補公州地方法院部長　平壤覆審法院判事　和田四郎
補釜山地方法院晋州支廳判事　咸興地方法院部長判事　竹村昌計
補咸興地方法院部長　釜山地方法院判事　田尻隆造
補大邱覆審法院部長　大邱覆審法院判事　津守萬里
補大邱覆審法院判事　釜山地方法院馬山支廳判事　竹尾義麿
補光州地方法院部長　釜山地方法院判事　高木安太郎
補釜山地方法院馬山支廳判事　光州地方法院部長判事　菊池太惣治
補咸興地方法院判事　大邱地方法院判事　前田英一
補大邱地方法院判事　咸興地方法院判事　田中信助
補平壤地方法院新義州支廳判事　釜山地方法院判事　井浦義久
補釜山地方法院統營支廳檢事　平壤地方法院新義州支廳判事　鎌田三郎
補平壤地方法院新義州支廳檢事　大邱地方法院檢事　韓溶
補公州地方法院大田支廳檢事　釜山地方法院馬山支廳檢事　澁谷有孚
補釜山地方法院馬山支廳檢事　京城覆審法院檢事　奧田駿
補京城覆審法院檢事　京城地方法院檢事　水野重功

◎光州春繭共同販賣日割　光州郡に於ける本年度春蠶繭の指定共同販賣は光州及び松汀里の二箇所に於て行ふ筈なるが其の日割は光州にては六月十三日、十六日、十九日、廿一日の四回にして松汀里にては同月十四日、十七日、廿日、廿二日の四回に行ふ筈其の出區域を聞くに松汀里に出荷する分は松汀、東谷、大村、西倉、河南、林谷の各面にして其の他は光州なり而して本年度の指定參加人は小口組大邱支店、京城支店、木浦金谷商會、東亞蠶業會社、京城山十組大邱製紙場木浦中上國次郎等なりと（光州）

◎全北沃溝郡春蠶狀況　全北沃溝郡に於ける春蠶の狀況を聞くに掃立の早きは五月八日最終は五月十四日にして發生は稍々齊一を缺きたるも其後の發育は一般に佳良にして目下三齡乃至四齡四五日目のもの多く桑葉は新芽の當時風害を被り不足の虞ありしも其後の伸長良好なるが故に目下の所過不足なきが如し（全州）

人事消息

▲小林勝次郎氏（門司日本製糖代理店員）二日夜入京巴城館へ
▲中井喜太郎氏（東京實業家）同上
▲川田久馬吉氏（朝郵西鮮事務長）二日入京二見旅館へ
▲堀田宗一氏（東京千代田生命保險會社員）二日夜入京天眞樓へ
▲和田維四郎氏（上院議員）二日朝退京內地へ

□群山より　鳥堂

芍藥の實が齊く梅雨らしくてならぬ

露國黑海艦隊

上五月廿[illegible]旬獨軍はセバストポール[illegible]戰軍艦の拿捕せられたりと云ふは[illegible]同港碇泊し居り[illegible]艦或ひは[illegible]ざるノヴオラシースクに入りたる[illegible]中に收めん野心滿々たれを差當り[illegible]例へ合獨逸が同艦隊を手中に入るゝ[illegible]之を利用する[illegible]

[illegible]滿鐵鞍山驛は開設日尙淺きを以て[illegible]上の延期を希望するもの益々多きに急激に其の既存の地位を失ふと[illegible]旅客貨物の出入見るに足るべきものを加へ來り且鞍山新市街の建築現[illegible]

◎立身の捷徑は先づ就職容易なる小學教員となるに限る全國其不足教員數は四萬本會は學監師範學校教頭大橋先生監修の下に最も親切速成に教授し受驗就職の便を與ふ正科一年豫科六ケ月卒業會則申込次第進呈

小學教員試驗講義

東京小石川局區內　帝國師範教育會

第四回株金拂込公告

一、拂込金額　壹株ニ付金武拾五圓也
一、拂込期間　大正七年自六月四日至六月八日
一、拂込場所　當行本店、支店、出張所、株式會社第一銀行（橫濱、名古屋、京都、下關）各支店

右拂込相成度公告候也

大正七年五月十日

朝鮮銀行

實業之日本

西伯利亞に於ける日米人の飛躍振り

西伯利亞に於ける日本人の活動　在浦鹽　下田滋

驚くべき米國人の暗中飛躍　今井政吉

西伯利亞に於ける邦人と外國人の相違　農商務省囑託　布川孫市

戰時會社の盛衰　九州水力電氣會社評

造船界の革命　コンクリート造船（寫眞入說明）

全國多額納稅者比較　番附

二重人格と其矯正　増田社長

慢心論　新渡戶博士

早老豫防の強健術　醫學士　樫田十次郎　在來の方法と違ひ複雜でなく極めて解り易い實行は頗る簡易である是れが運動法を一々圖入りにて說明す、內臟、腹と腰、消化機、腕筋肉、頸等に及ぶ

轉業の際熟考すべき三要點　浮田博士

青年團の指導者　中將　田中義一氏

□農家の有利な副業　藥草の栽培

□工場經營改善法

□青年學生　ハンモック旅行案　新提

余の愉快に感じた商店　當世諸名士の實驗せる回答十數通

南米アルゼンチンに於る同胞二千人の近狀……新聞記者　古川大斧

古川氏はアルゼンチンに在ること十二年、此程歸朝して同胞の近狀を語る、氣候風土、有望な農業牧畜、同胞の從事する職業等詳細を極む、サンパウロの記事を讀みたる者は是非一讀を要す

六月一日號　十八錢　郵稅一錢　半年武圓五十錢　東京京橋　實業之日本社　振替三二六

スタンダード尺　グラジシ尺　兩尺根本的說明

大日本森田式洋服裁斷教授　森田與三郎

京城南山町三丁目五番地　松本喜十方

▲縫方に幾分經驗有る
▲熱心なる人を望む
▲縫方に經驗無き人は御斷り

朝鮮總督府官報　一坑山火藥外壹點右賠買ス詳細ハ六月參日以後朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

合資會社高橋興國ニ對シ買戾ル者ハ八月二日迄ニ申出相成度　六月三日　合資會社高橋興國　高橋章之助

◎有給外務社員募集　◎女子內勤事務員　勸業債券月賦販賣　報國公債　株式會社朝鮮支店　京城若草町百六番地　長電話三[illegible]　振替口座京城[illegible]

◎恩給　年金は年額の四箇月立替す金利は月百圓に付金五錢の割合とす返濟方法は有利の方法也して最善有利の方法也

◎公債債券現物賣買　◎有價證券擔保貸付　西村商會　京城府若草町[illegible]　電話[illegible]　振替京城[illegible]

京日案內　普通一回前金一番外壹[illegible]

◎乳母入用　但御預け致しても可　太平通り二ノ四五（電話六九八番）

生後二十日男子にして血統正壯健なる者愛兒の方に造りて（姓名在社）

◎いり種各種御販賣　地方は鐵道便にて送る　京城府壽町二九

◎看護婦及見習生至急採用　給料望みに應す　京城山元町一丁目　コウユイ[illegible]

◎女髮結すき子至急入用　但十四五歲より十七八歲迄希望

求婚　良家の處女年齡二十歲[illegible]初婚容貌普通高女卒[illegible]裁縫及家政等十分熟達す商工業[illegible]に嫁したし照會は平壤京城日[illegible]局へ

○中古ミシン買入　御用の方は電話又端書御報[illegible]　京城鍾路二丁目パゴダ公園近電三三八　楠商[illegible]

事務員採用　某商店に於て採用す希望者は四日迄に本社內迄[illegible]りたし

安滿運輸商會　輕便鐵道終點价川驛より江界行乘合馬車開始　▲平南軍隅里（价川驛前）

▲看護婦急採用　希望者は自筆履歷書持參　京城明治町二丁目　中島小兒科醫院

恩給年金　長期低利立替短期　但當恩給ニ對テハ此際四年分立替　京城日之出町十一番地　日之出學校裏門前　吉田屋

自玉ポートワイン　京城若草町　電話二七一四番　發賣元　明神組商會

……得ずと雖も多分獨逸勢力の及ばなりと云ふ可し獨逸も同艦隊を擧下に降すべき運命に遭遇すべきが……

軍需局は何をする
—工業動員實施上の調査—
獨逸では戰後は經濟參謀本部にする

◇先づ工場の生産能力から調査

既報の如く工業動員法の實施上軍需局官制の發布を見たるが右に就き要路の某氏は語る『戰爭は人ばかりでは出來ない事は勿論でありますが殊に近世の戰爭は夥しい兵員を動かして戰ふのですから之に伴ふ兵器彈藥糧食の

▽生産能力 を平時から調査し且つ之を發達せしめ置かなければならぬ軍需局は之が目的で設置されたので平時は國家經濟力の助長に努め戰時に際しては其の生産物と勞力とを國家の防衞に供すると云ふ譯ですだから歐洲戰爭が濟んだつて軍需局は廢されるものでない寧ろ益々國内全般に亙て

▽產業運輸 能力を調査し時には指導する筈であるから其の關係する處は頗る廣い之を外國の例に見ますると英國の如きは大戰開始と同時に軍需省が設けられ現首相ロイドジョージ氏がその大臣となつた獨逸では現在の軍需省を戰後には經濟

▽參謀本部 といふものに變へる計畫を既に爲しつゝあるといふ狀態で各國とも此の方面に深い注意を拂つて居るといふのである新設された我が軍需局の先づ第一に着手するのは工場動員法に基いて全國各工場の生産力と使用人員とを調査する筈だ相です』

傳染病死者數

警務總監部衞生課の調査に依れば大正六年中全鮮に於ける傳染病患者狀況は赤痢患者二千九拾七人死亡五百七拾三人腸チブス患者二千三百九拾七人死亡四百九拾九人パラチブス患者三百七拾三人死亡三拾八人痘瘡患者四拾八人死亡五人發疹チブス患者九拾九人死亡四人猩紅熱患者二百三拾七人死亡二十二人ヂフテリア患者三百六拾七人死亡三十四人なりと

女醫先生が質問する
外の會合では迚も見られぬ圖
時間がないのでグン／＼飛ばす
朝鮮醫學會總會の二日目

朝鮮醫學會總會の二日目は前日と同じく午前八時半から開會、講演者は次から次へと演壇に立つてお手前もの丶專門語を並べ立て十一時半には

◘宮入博士 の眼鏡が卓子の上に光る、博士は蛔蟲と肺ヂストマに就て數年來研究の結果を發表し時々巧みな諧謔を交へて聽講者を笑はせたが流石に斯界のオーソリチー、何れも其の所說から多大のヒントを得た事と思はれる、此日は總督、松川軍司令官は見えなかつたが其代りに前日來なかつた內地人女醫が二人と

◘醫專出身 の鮮人女醫が二人、金筋とフロックコートと軍服が目白押しに押し並んだ會員席に陣取つて居たのは陳い文句だが萬綠叢中の紅四點とでも云ふのか確かに異彩を放つて見ゐたりけるプログラムももう大分進んで大島側氏の演說が濟むと紫が丶つた色の袴を著けた女先生の一人が

◘金紗縮緬 の紋付に同じ二寸質問致しますと立ち上り六ケ敷い術語を連發して滿座注視の焦點となる、此麼事は迚も外の會合では見られぬ圖で之亦異彩と云へば異彩であらう、講演者は餘まだ十四五人もあつたが時間がないのでグン／＼と飛ばし渡邊千葉兩氏の講演で幕となつた、時に正五時……。

青葉の南大門校庭に
學生帽とリボンが波打つて
本社第三回お伽講演會の盛況

◇休憩の間も待ちきれない小さい拍手の催促

本社主催第三回京日お伽講演會は二日の日曜日午後一時から南大門小學校大講堂に於て開催したが定刻には既に

◘リボンや 學生帽が青葉過る暖い陽に映ねて波打つてゐる開會前爪も立たん程に可愛い顏が列んでゐて『早く始まれば好いわね』『どんなお話でせう』『きつと悲しいお話だワ』なんて賑やかな囀が取り交はされてゐる、三十分おくれて、一時半先づ本社松尾理事の開會の挨拶に次いで

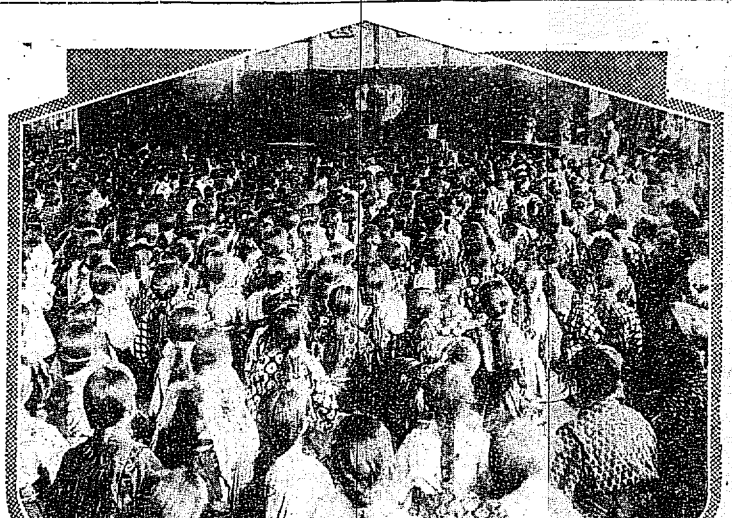
◆京城日報の小父ちやんと皆さんに呼ばれる龍山淚光が登壇すると小さい手が大きい拍手をする開口一番ドッとみんなを笑せて『澄子さんと光子さん』でホロリとさせ、次には『お白婆さんとお黒婆さん』で、みんなのお腹が痛くなる程笑はせた、橫側にズラリと列んでゐられた先生達や

◘お父さん お母さんまでア、、、、オホ、、、と大口を開いて笑つていらつしやいます、それが濟んで五分間の休憩、その間も待ち切れない紅葉のやうな小さい手が次を次をと呼んでゐる汗を拭くまもなく、三度こんどは可哀相な『愼太郎』で

◆男子も女子もお父さんもお母さんも淚を拭つてはまた拭ひしてゐる、中には聲を立てゝむせび泣きして居る人達もあつた、松尾理事の閉會の辭で午後三時閉會、淚の跡を拭き／＼みんなは家路に就いた、が此日の會衆は

◘千五百名 後から來た人などは中に入りきれないで窓の外から顏だけのぞけて聞いてゐた人も多かつた

終りに特に御配意を辱うした南大門校の校長先生外諸先生に多謝して筆を擱く。



◆本社第三回お伽講演會の盛況

所謂紳士の體操に就いて（二）
—簡單容易な强健運動—
◇淑女にも應用す可し◇

九州帝國大學醫科大學教授 醫學博士 櫻井恒次郎

◇五分間の體操

◇所で前に述べました樣な結構な體操は、頗る簡單なもので、苟も不具者でない以上は、何人にも直ちに習得出來得る程簡單なもので而かも之れを少しく間違つて實施した處で、體に別に有害の影響を及ぼさないので有ります。言葉を換へて言へば

◇簡單容易なることと、時間が短いことと、無害で而かも効力の多いと云ふことが、此體操の特色で有つて而かも此體操でする運動即ち術語で云ふと敎材は總て明白なる學理上の根據の上に築き上げたもので有るから、世間に有り觸れたる二三の强健術の如く全く意味の分らぬ動作を、盲從的に實行するのではないから紳士諸君は十分の自信力を以て之れを實行して、其目的に達し得るので有ります

◇處で此結構なる體操は、決して私の發明したものでもないので、又私が案出したものでもなく、之れは瑞典式體操、即ち今日一般に中小學校で行つて居る處の體操の本元の體操の中から最も簡單な、而かも最も効力の有るものを二三拔き取つて、其れを私が應用し易い順序に組み立つて、而して諸君に毎朝起床後の五分間の時間を頂戴したいと、斯う御願する譯で有ります。

◇尤も之に類似の企ては、前年來多々あつたので、例へば彼の戸山學校の十分間體操乃至は椅子體操の如きも亦、同じ方針で生れたもので有りますが、唯私のは其れよりも、時間が短かく、技術が簡單で、而かも之から申上る樣な學術的の基礎の下に、組み立てたと云ふことが一つと、尚一つは私のは體操實施の結果として起り易き

◇疲勞と云ふものを絕對的とは行かぬ迄も、可成避けた處が異つて居る許りで有ります。蓋し毎朝起床後直ちに實施するので有りますから、若し此體操の爲めに疲勞を覺え、其結果として其日の業務に影響を及ぼす樣では、此紳士體操の目的は全く沒却された事になります。

◇未だ此外にも今日世間で流行して居る强健法は澤山あつて、例へば靜坐法とか腹式呼吸とか、或は又色々の强健法と云ふ類である。諸君の中にも、此中の一つ或は二つを、既に御實驗になつた方が澤山あること丶存じます、がどうも是等の强健法は永續し難い。

◇其理由は第一技術が比較的六ケ敷のと、第二には其學理的方面の說明が完全で無い爲めに、實行者は無我夢中で、自己の意志を沒却して、實行せねばならぬと云ふ不便がある。其上又之れ等の强健法は、身體の一部分には非常に有効に影響するにも係らず、他の部分には却つて有害の結果を惹起すると云ふ樣な場合が屢々實驗せらるゝと云ふ不便が有る。即ち此種の强健法は其影響が均齊的で無いので有る。例へば之れ等の强健法を行つた爲に或は腎臟炎を起したり、或は胃腸が動き出したり、或は又心臟が弱つたりしたと云ふ樣な事件が屢々起るのである。

◇然るに私の五分間體操は之れ等に比較すると、其影響が遙かに普及的で有つて其上又技術の簡單なることは、殆んど馬鹿氣た程で有ることは、一旦御實行下されば直ぐ御分りになる事と存じます。

無線五十哩に通話す
電信機は六千哩

既報服部少佐等の發明せる無線電信機は六千哩の長距離に達し又無線電話は五十哩の距離にて最も明瞭に談話を交換し得可く爲に我戰術に一進展を來す可し（東京特電）

鞍山と立山

山側宅地に於ける日本人の發展も……又斷欠永久的ならんとし假宅地……一般の事業は其礎漸く鞏固を加へ來りつゝある故鞍山市街の建設と共……にするの方法を講ずるの必要あるべし

雨中の水路下り（四）
◇—ざんぶ、ざんぶ、ざんぶ—◇—鳴る瀬はここよ、エーツレー—
豐沃な平野が
兩岸はだん／＼低くなつて
隧道を出拔けると

◘零時半頃 十餘艘の川舟は又繫留をといて下つた、それから小一里も流すと兩岸の堤防は段々低くなる、雨の小降りになつた頃、船中から左右を展望すると、廣い野が左右に展け、靜かさうな部落の點在、山々の

◘青い立木 が心地よく眺められた、一體此の邊の土地は鴨綠江の濁流が流して來た沃土の沖積より成りいかにも肥沃らしい、又山も地味が肥えてゐる故か松や雜木の勢ひのよい木立は、鐵道沿線などに仲々眺められない圖である

◘民家も滿 洲式の土壁や乾壁を周圍にめぐらしてゐる家の造りは大きくて民度も僅に京城地方や南鮮に比すると高いらしい、聞いて見ると多くは相當の土地を有つた地主であつて、純粹な小作人は稀れであるとの事であつた、トンネルをぬけてからは概して雨も小降りとなつた

◇大正水利通水式祝賀會

◘十何艘の 船が下るので兩岸には多數の鮮人が群がり、賑やかな一行を送迎してゐた、奏樂の吹奏、それが彼等には甚だ珍らしいものであるらしい、彼等は又自然を征服する內地人の力に驚嘆してゐるやうであつた

◘大正水利 が回軍山にトンネルを掘鑿し、此の平野に用水路を掘りかけた時、近在の鮮人は異口同音に言つた『吳長議郡守が何年かゝつてさへ水を通し得なかつた回軍山とその水路に、內地人の力で水が通るものか』と、實際郡守と云ふ彼等にとつて豪い官吏の

◘數年の努 力でさへ、水の池に終つたのであるから斯く思ふのは無理もない、而も大正水利は一年半そこ／＼の間に水路を掘り水を通じ、船を泛べてゐるのである、彼等の得た水路に對する感じが尋常一樣でない事は十分に窺知し得られる……雨は殆んど止んだ下るに從つて平野は益々廣さを加へた

◘竣工式場 たる不二農場背後の信地山、その信地山に設らへられた式場の準備が漸く見え出してから、彼是三時間以上も眺めの單調に陷れる水路を下つた、晴天の日なら水路の水は清澄で夥しい鮮魚が見得るさうだが、雨天の續いた昨今の渦濁した水は餘り好い感じも與へぬ、風が向ふから吹つけるので船足も從つて遲い

◘水路の幹 線を支線に折れたのは五時少しすぎ、その支線の岐れ目は急流になり、はづみを喰つて動搖したため、水を浴びた船も出たらしい、支線は水路の巾も稍狹く、流れも亦緩かつた、式場の信地山が段々近接して來る、煙火ももう打ちあげられてゐる、記者等ののつた船の不二農場に近い船著場に著いたのはかれこれ六時に近く、出帆以來水路に八時間を費やしてゐた

◘上陸地點 には熊や狐の面をかぶつた男や十二三の男女の兒が筋の上に上げた二三人の鮮人が、可笑した囃しによつて何かを唄りに踊つてゐた、これは一行歡迎のためであらう、此の賑群せる水路下りの一行人の被害は某判任官の帶劍一本並に某々兩氏の雨傘二本を水路に沈めた事で、負傷者は一人もなかつたなわり…（一記者）

慘死者判明す
保津川鐵橋の椿事後報

既報の保津川鐵橋附近に於ける汽車顚覆椿事にて壓死を遂げしは京都府下龜岡の在鄕軍人にて日露戰役に出征し功七級勳八等を授けられ相當資產を有する相原吉太郎並に丹波國桑田郡笹村八百屋乾物商佐野友太郎の二名と判明せり因に一時不通となりし列車は二日夕刻より開通せり（大阪特電）

京都瀆職事件

京都市會議員瀆職事件は郡部府會議員に波及し唐崎文二氏召喚取調べを受けたり七遊廓問題に關係せるものなりと（京都電報）

廣告

◎官營平壤無煙煉炭左ノ通價格改正販賣可仕候

地名	種類	貨車賣（大口扱）	小口扱（一噸以上千二百個一噸）	箱詰（半噸以下）	特約店
京城龍山	第一種煉炭（二ツ穴）	一五、一七〇	一五、六七〇	七二〇	苦米地商店
	第二種煉炭（三ツ穴）	一一、四七〇	一三、六三〇	六三〇	
仁川	第一種煉炭（二ツ穴）	一五、三七〇	一五、九五〇	七三〇	三井物產會社仁川出張所
	第二種煉炭（三ツ穴）	一一、六七〇	一三、九六〇	六四〇	
平壤	第一種煉炭（二ツ穴）	一三、七四〇	一四、二七〇	六六〇	中村組
	第二種煉炭（三ツ穴）	一〇、〇四〇	一二、〇五〇	五六〇	
鎭南浦	第一種煉炭（二ツ穴）	一四、五九〇	一五、〇四〇	六九〇	中村組
	第二種煉炭（三ツ穴）	一〇、八九〇	一二、九三〇	六〇〇	
大田	第一種煉炭（二ツ穴）	一五、九〇〇	一六、四七〇	七五〇	大田合資運輸會社
	第二種煉炭（三ツ穴）	一二、二〇〇	一四、五四〇	六七〇	
水原	第一種煉炭（二ツ穴）	一五、四五〇	一六、〇二〇	七三〇	中島商店
	第二種煉炭（三ツ穴）	一一、七五〇	一四、〇四〇	六五〇	
大邱	第一種煉炭（二ツ穴）	一六、四二〇	一六、九六〇	七七〇	三ケ尻商店
	第二種煉炭（三ツ穴）	一二、七二〇	一五、〇九〇	六九〇	
元山	第一種煉炭（二ツ穴）	一六、〇八〇	一六、六四〇	七五〇	吉田商會
	第二種煉炭（三ツ穴）	一二、三八〇	一四、七三〇	六七〇	

○小口扱及箱賣ハ持込ミ値段トス數量ハ御改メ御受取被下度候
○目下貨車廻惡シキ爲メ思フ樣ニ御注文ニ應ジ兼ネ候ヘトモ全カヲ注イテ貴需ニ應ジ申候
○右價格ハ平壤鑛業所御指定値段ニ就キ右以上ニ販賣セシ特約店小賣店有之候節ハ三井物產株式會社京城支店ヘ御申越被下度候

一手販賣 京城黃金町 三井物產株式會社京城支店（電話六〇〇七番）

開城以南特約店 京城古市町一四 苦米地商店（電話九四〇、三一〇八番）

開城以北特約店 平壤、鎭南浦 中村組（電話平壤五〇一番南浦一〇七）

御待兼の連續大寫眞 本日より引續き
公開
ミラの秘密
第五回（前回より續く）
唖々怪々ミラは寢た儘空中を遊行し六階から
第九、十篇四卷上場
靈體警報器の大活躍、測心板、靈力吸收器、團長最後の手段
新派悲劇 色のみだれ 全四卷
新規撮影天正舊劇 豪傑 毛谷村六助 全三卷
天活特約 黃金館

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彥
京城本町二丁目 電話…貯金京城一六一、二三一七番

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編（改定增補第四版）
朝鮮動產不動產商業登記申請書式
本書中不動產登記の部には土地調査に關聯せる官公署の登記に關する嘱託書式等併て百式拾餘件並に印鑑屆、證明願、契約書、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）狀、通牒、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲げ加ふるに各登記に關する決議實例等苟も申請人の參考と爲るべきを掲げ以て各書式の末尾に之を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を記し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり（振替京城三〇…）
發行所 京城太平通一丁目 電話三六…番 京城日報代理部
取次所 京城本町二丁目 大阪屋號　京城本町二丁目 嚴松堂

各種鑛物ノ分析依賴
金銀精製ニ應ズ
新發見鑛區買入
京城旭町二丁目七 中村分析所 電話二…

花吹雪

大阪 中谷青霞

(五十)

『もし淸兵衞樣、主税之助樣お入りで御座りまする。』

云作ら唐土は折臥したる淸兵衞が枕邊に寄添うて、靜かに上の掻巻を跳ねのける。

淸兵衞は此程建部が邸に思はぬ不覺の傷を負うて、雲涯律師を始め唐土が一方ならぬ介抱をうけ、心ならぬ五日餘りをこの妙見院の奥書院に打臥したが、傷は思うたより淺かりしと見ゑ今日は早殆ど快癒の體、折から唐土が訪ふ聲に枕を擡げて。

『なに、若樣お入りとな、さらば起き出で〻久々の御對面、こゝは餘りに取亂して御座れば、彼方へ參りて…。』

云作らつと身を起す。

『あゝ苦しうない、其儘〳〵。』

と云ひつゝヅカ〳〵入り來りしは主税之助、上座に座を占むると、淸兵衞が面を熟々見て。

『おゝ淸兵衞、思ふに增して早快い血色、主税之助安堵致したぞ。』

『若樣にも先づ御健壯の體、淸兵衞祝著申しまする、して某この度の不慮、建部が邸へ推參の黑白表裏、前後の紛紜早若樣には御存じで御座りまするか。』

『おゝ今方々丈にて師の御坊より委しう聞いた、執念くも祟りをなす建部織十郎、身の成る果ては自業自得と申すものぢやわ。』

『建部織十郎が自業自得の身の成る果てとは…若樣、そりや又如何やうの儀で御座りまする。』

『淸兵衞、お身は未だ何事も知らぬと見ゑるな。』

『この五日餘りを痛傷に臥した非月淸兵衞、存知しるべきやうは御座りませぬ、して建部にはいかやうの儀。…おゝ承るにしてからが支は餘りに取亂した體。』

と淸兵衞は立上らんとするを、主税之助押止めて。

『苦しうない、身が勝手ぢや、其儘にゐたがよからうぞ。』

『ならばお許し下さりませ、して如何やうの儀でもおはしたか…。』

とにじり出づる淸兵衞、唐土も膝を進めて。

『主税之助樣、さゝお聞かせなされませ。』

『何事も知らぬとあらば申聞かさう、去んぬる夜建部讃十郎お身を邸に誘き寄せ、只一刀に斬捨てんとせしを、早速の當て身に脾腹を打たれ、頑丈とは云へ老體の身、樣々の介抱も其甲斐なく、敢なく最期を遂げられたわ。』

『わゝ〳〵。』

『急病頓死と申立て、後目相續の願ひ一子兵馬へとあつたれど、日頃の亂行了俊殿其餘の人々より公儀に即ね、後日相續は讃十郎殿舍弟左內殿へ兵馬殿は即ち叔父御へお預けの身となられた、仔細はそれまで、お身へのお咎めは素より浪人の身なり一切を秘密にしての事落着、邸にも別儀なく相濟んだ次第、淸兵衞安堵おしやれ。』

と眉を開ける主税之助、淸兵衞は深く思ひ入つた體、やがて屹と面を擡げて。

『承れば餘儀もない儀、なれど兵馬樣が爲めには不俱戴天の仇たる淸兵衞、取りも直さず親の敵、武道の意地討たうとあらば餘儀はおはさぬ、この淸兵衞美事討たれて死する心底、覺悟決めて御座ります。』

『可う云やつた淸兵衞、身を捨てゝ孝道を盡さすも武門の習ひ、弓矢取る身の義理ぢやわ、それに就けても唐土どの、お身が深き心の計ひ、叔父御にめぐり逢うて其上の望み、仔細があらう、かゝる折から包まずお聞かしやれ。』

唐土は屹と四邊を見廻して。

『ならば淸兵衞樣もお聞きなされて下されませ、妾は此上の望みと云ふは只、有樣敵討でござりまする。』

品質本位 人蔘エキス チンキ 其他諸製劑 京城南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三二六番

夏物新柄着 ㊂ まる三吳服店 京城本町貳丁目 電話一五七番 振替貳六五〇

豫告

次回新小說『妻の心』

小林蹴月氏作 武內桂舟畫伯畫

目下朝刊四面に連載中の小說『花吹雪』は六月六日の五十三回を以て愈好評裡に完結するに付六月七日より連載すべき次回小說は本社が特に讀者の希望を聽き東都の新進作者數名より原稿を取寄せたる中にて是れなれば必ず讀者の滿足を得るものと確信せる小林蹴月氏作新小說『妻の心』を掲載する事とせり尙ほ妻の心は近來文壇に稀に見る傑作にて作者が心血を注ぎ執筆せるものなれば稿を重ぬるに從つて氏が艶麗の筆致は愈加はり波瀾曲折抱腹絕倒するかと思へば淚の袖を絞るが如き哀感は一々讀者の肺腑に響く處あるべし

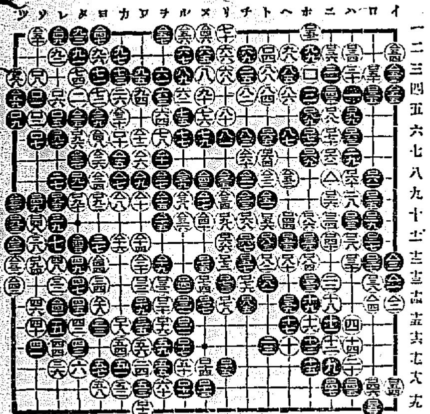
碁戰(十三)

大正七年五月二十日(於京城) 京城日報主催圍碁會(俱樂部)

先 五段 柯亭 關源吉氏

三段 山平壽氏

●	二四一	レの十四
○	二四二	ツの十三
●	二四三	ヌの八
○	二四四	ヨの十二
●	二四五	ヌの十一
○	二四六	ヨの一
●	二四七	ヨの六
○	二四八	レの一
●	二四九	ソの一
○	二五〇	トの九
●	二五一	ヘの八
○	二五二	イの三
●	二五三	イの二
○	二五四	イの四
●	二五五	ルの一
○	二五六	チの一
●	二五七	ツの三
○	二五八	ツの四
●	二五九	チの七
○	二六〇	



新刊紹介 (到着順)

▲新春(德富蘆花) 猶太、希の山からパレスチナの回顧、ヤスナヤポリヤナの回顧、春は近い、私の松、九十九里の七篇を收む裝幀の善美なること無比にして表紙に金字入り萠黃木綿を用ゐ一見目を惹むる許りにして殊に著者自身のオフセット版及び三色版水彩及び著者の近狀を撮影せる寫眞等を挿入せる非賣本上一用意極めて周到なるは確かに出版界の一異彩たるべく而かも其の內容に至つては著者獨特の神韻漂渺たる名篇佳作を收めたるを以て定めし讀書界の渴を醫するに足らん(一圓六十錢、東京々橋三十間堀三の一六福永書店)

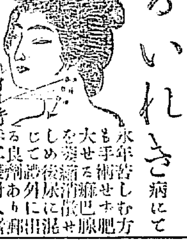
▲滿鮮地理歷史研究報告(第四) 東京帝國大學文科大學編纂契丹の國軍編制及び戰術(松井等)宋對契丹の戰略地理(同)金代北邊考(津田左右吉)高句麗の戰略的東北境と女眞との國係(池內宏)鮮初の東北境と女眞との國係(池內宏)朝鮮東北境經略圖(三百六十四頁東京丸善株式會社發賣)

讀者の領分

[illegible]

せきずい 永年せきずい病手足引腰足不隨腰骨筋痛みしびれ等に効顯著春髓病に良藥あり困難病者葉書申込まば無料詳報す 播州明石郡林村 木本本家

リウマチ 難病にてあらゆる療法効なくお困りの方は郵券參錢封入申込まれよ不思議に治る神秘靈藥を御知らせ致します 東京市淺草區 井筒屋油店


るいれき病にて [illegible]

軍隊拂下品販賣 ▲被服類一式 ▲蟹店特製品 ▲合服類一式 中古品 ▲和服、洋服類春向夏物一式 右特別勉强販賣仕候 ◎時計 製氷 金子 [illegible]

東洋一の魁 內田式ストロンタ靴は [illegible]

御旅行用 靴と鞄 內田靴鞄商店 [illegible]

最新刊 朝鮮鐵道旅行案內 最新乾式試金術 貴驗獄の遺傳 論語新釋 大坂陣 生命の不可思議 青島攻圍陣中記 續金色夜叉 明暗 中流生活の改造 西洋草花栽培法 日蓮主義概論 使ふ人使はれる人 模範作文辭典 愛と憎み 算術自由自在 京城本町 大阪屋號 (本店)東京(同店)大連、旅順、鐵嶺、釜山

滋養強壯料 ◎ミツワ規那鐵葡萄酒

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50

香味色佳良滋養力偉大 健胃補血興奮作用卓絕

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、純良なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に吸收する憂なく規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱、並下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▽如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食餌の進まぬ病人
一、營養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、産前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色が蒼く肉瘦せ活潑ならぬ人
一、所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、細長く瘦せ咳嗽や痰の多く出る所謂結核性の人
一、血よりし多く出る所謂結核性の人
一、下痢の永く續いて居る人
一、萎黃病など血液の病に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に惱まされて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ氣病に惱まされて居る人

定價 一瓶 金壹圓七拾錢 (內地以外は運賃を加ふ)

(現品縮寫圖)

模範強壯料 ◎ミツワ人參葡萄酒

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の強壯を圖り尙新活力を賦與し得べき

MITSUWA GINSENG WINE

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and force, is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

風味高潔淸和滋養豐富 精力增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絕なりと認められたる人蔘を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして其の色は紫紅にして鮮麗、其香は芳芬にして淸爽、其味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し、精力を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の強壯を齎らし精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尙健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飮用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の淸涼飮料を以て稀釋するも可なり。

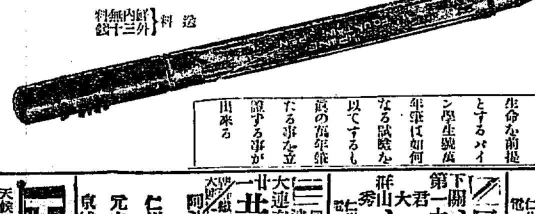
▽如斯人は強壯料◎ミツワ人蔘葡萄酒を用ふべし

一、精力を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、腦を明晰にしたい人
一、顏色を良くしたい人
一、延命長壽を願ふ人
一、神經や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の疲れ易い人
一、貧血して居る人
一、顏色が蒼く元氣の無い人
一、手足や腰が冷えて困る人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神が鬱々とする人
一、時々氣を失ふ人
一、陰萎遺精などに惱んで居る人

定價 一瓶 金壹圓八拾錢 (內地以外は運賃を加ふ)

(現品縮寫圖)

パイン(學生號)萬年筆 金貳圓八拾錢 (附久年保證) 送料 內地無料 外地三十錢



五年以上の生命を前提とするパイン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも眞の萬年筆たる事を立證する事が出來る

發賣元 京城日報代理部 京城太平通電話構內十八番 振替京城三〇〇番

金泉乃城間自動車著發時刻 [illegible]

織居自動車部金泉支部 ▲小荷物運搬仕候 金泉電話四八番

汽船 釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 月 日 後五時出
立神丸 月 日 後五時出
○元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日 後十時出
立神丸 月 日 後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天興丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日(十四日)午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 四月 日 後六時出
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 四月 日 後六時出
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

汽船 大阪商船出帆
仁川出帆 △神戶、大阪行 日淸丸 六月九日 後五時出
元山出帆
大連出帆 ◎淸津行 安平丸 六月五日 後十二時 ◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 六月十一日 後九時出
◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月九日 前六時出 基隆丸 六月廿一日 後四時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 南米洲行 一年四回 濠洲行 每月一回 北米行 每月二回 孟買行 每月二回 南洋行 每月一回
御注意 ◎外航航路ノ所要時ハ五分引ナテ以テ近海航路ヲ除ク ◎御乘船御切符ハ朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社ニテ取扱仕候 ◎御乘船切符發賣ハ出帆二時間前ニ打切ル ▲印ハ船客取扱ノ約束ニ付御相談可致候 ×印ハ一等客ニ限ル
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番二一〇番五五〇番
京城 切符發賣所 內地通運會社支店 電話七〇八番
京城本町一丁目 仁川旅館 仁川京城通 仁川切符發賣所 電話二六一番 協同組 [illegible]

日本郵船仁川出帆
○大連行、天津行 相模丸 六月十九日 三河丸 七月九日 高砂丸 六月廿九日 正午
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕店

尼崎汽船出帆
下關、大阪行 第一太湖丸 六月二日 後四時 君代丸 六月十二日 後四時 大有丸 六月六日 後四時
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 秀吉丸 六月 日 後四時出
仁川海岸通三丁目 高杉回漕店

共同汽船仁川出帆
三阿波共同丸 大連直行 一二 六月三日 後 四日後
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話一七三 仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口 京城大取店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○敦賀行 淸津發城津、元山經由 平壤丸 六月八日 淸津發 平安丸 六月十一日 元山發
○浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津經由 平安丸 六月四日 元山發 釜山發
○雄基行 關門發釜山經由 ×印雄基港
×基雄丸 六月四日 六月七日 釜山發 元山發 成鏡丸 六月九日 六月十三日 釜山發 元山發
○元山雄基線 稳城丸 六月五日 元山發
○大阪行 門司神戶經由 稳城丸 六月十四日 平安丸 六月十六日 元山發 釜山發
○關門行 ×京畿丸 六月十五日 元山發 六月十一日 釜山發 忠淸丸 六月十五日 釜山發
○金剛山遊覽便 元山發長箭 稳城丸 六月九日 元山發
○鬱陵島行 盈德丸 六月五日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸、金海丸 每日 釜山、浦項發
○濟州島行 昌平丸 六月四日 釜山發
○濟州島行 木浦發
東迴 慶興丸 六月六日 西迴 公州丸 六月三日 木浦發
○釜山麗水線 濟州丸、巨濟丸、統營丸 每日
○木浦麗水線 金海丸 六月四日 木浦發
○多島海行 公州丸 六月十四日 木浦發
○木浦行 慶賢丸 六月三日 仁川發
○濟州行 江丸、成歡丸 每日一回 仁川濟州發
○鎭南浦行 晉州丸 六月九日 仁川發
○青島行 江原丸 六月十一日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 宗信丸 月 日 鎭南浦發
本社 京城南大門通(電話一九五一、二三二) 釜山港佐藤町 釜山支店 元山海岸通 元山出張所 仁川代理店 堀回漕部 木浦取扱店 山野回漕部 京城南大門前 松原運送店